山形県飯豊少年自然の家

利用ガイド

＜山形県飯豊少年自然の家を利用していただくには…＞

電話等での問い合わせ【仮予約】

電話等により利用が可能かどうかをお問い合わせください。その際、利用予定日・利用人数・活動内容等についてお知らせください。

利用許可申請書等の提出【予約】

利用許可申請書等に必要事項をご記入のうえ、仮予約後すぐに郵送・ＦＡＸまたは、メール添付にてお送りください。なお、申込内容の変更（食事数）は、休所日を除いて利用日の３日前の正午まで受け付けますので、予約時は予定数でお申し込みいただいて構いません。

利用許可証の送付【予約完了】

利用許可申請書等の確認後、自然の家から「利用許可証」を送付いたします。

※野外炊飯またはテント泊をご希望の場合は、活用セミナー（事前研修）への参加をお願いしています。

活動プログラムの提出

利用日の３週間前までにご提出ください。物品の数の確認や場所の調整などがある場合、研修担当から団体の主担当の方へご連絡いたします。

自然の家に到着したら……

原則として、自家用車、バス等は一般駐車場に駐車してください。事務室に用事のある方や緊急搬送用車両のみ事務室前駐車場に駐車してください。

１ 入 所 事 務

各団体の代表者の方は、まず事務室におこしください。利用人数、活動プログラム等について確認させていただきます。

２ であいのつどい

開会行事として「であいのつどい」の時間を必ず設定してください。各団体で企画・進行をお願いします。

３ オリエンテーション

必ず設定してください。「であいのつどい」の終了後、引き続き研修担当より利用上の注意事項やベッドメイキングについてお話しさせていただきます。

各団体のプログラムにそって活動を！

不明な点がありましたら何なりと所員にお尋ねください。

もくじ

Ⅰ　山形県飯豊少年自然の家について　……　Ｐ　２～

Ⅱ　活動プログラムの作成にあたって　……　Ｐ　４～

Ⅲ　自然の家の利用について　……　Ｐ１４～

Ⅳ　活動展開例

１　館内泊　……　Ｐ１８～

２　テント泊　……　Ｐ２０～

３　野外炊飯　……　Ｐ２４～

４　ハイキング　……　Ｐ２６～

５　追跡ハイキング　……　Ｐ２８～

６　ネイチャーウォークラリー　……　Ｐ３０～

７　グリーンアドベンチャー　……　Ｐ３２～

８　フィールドアスレチック　……　Ｐ３４

９　フライングディスクゴルフ　……　Ｐ３５

１０　ナイトハイキング　……　Ｐ３６

１１　キャンプファイアー・キャンドルサービス　……　Ｐ３７～

Ⅴ　資　料

各種申請用紙（様式第１号－③・利用申請①～⑤）記入例、館内平面図、周辺図　他

Ⅰ　山形県飯豊少年自然の家について

１　概　略

山形県飯豊少年自然の家は、昭和５６年７月、県立の第３自然の家として山形県西置賜郡飯豊町に設置されました。ここ飯豊町は、山形県の南西部に位置し、米沢市、川西町、長井市、小国町と接しており、地理的には置賜地方のほぼ中心に位置しています。

当所は自然豊かな里山の中腹にあり、四季折々に美しくその姿を変える植物や樹木に囲まれた活動エリアは、壮大な自然の営みを私たちに体感させてくれます。遙か西方には日本百名山のひとつ「飯豊連峰」を仰ぎみることができ、麓を母なる川「最上川」の支流「置賜白川」が流れています。また展望台からは『第一回美しい日本のむら景観コンテスト』で最高賞を受賞した散居集落の景観を眺めることができます。

山形県飯豊少年自然の家　　基本テーマ　**野性と冒険**　（土と緑と太陽と）

教育目標

自然体験や集団宿泊体験などの様々な体験活動を通して「野性味とたくましい冒険心」を培うとともに、社会性や協調性などの「他とかかわる力」の育成に努める。

また、様々な体験活動や学習機会を提供して、自己の充実や啓発、生活向上を支援する。

◇自然に親しみ、自然の優しさや厳しさに触れ、自然を大切にする心や豊かな感性を育てる。

◇集団体験を通して他とのかかわりを促進し、コミュニケーション力や自律、自尊感情、思いやり、感謝、感動などの豊かな心を培う。

◇様々な体験活動や交流活動に積極的に挑戦することにより、心身を鍛え、主体的・協同的に行動したり問題を解決したりする力と態度を養う。

２　利用できる人・団体　　※どなたでも利用できます

○幼児、小学生、中学生、高校生、大学生およびその引率者
○青少年団体（各種少年団、ボーイスカウトなど）
○家族やグループ（ボランティアサークル、育児サークル、同好会など）
○各種団体（ＰＴＡ、子ども育成会、婦人団体、高齢者団体など）
○個人（自然体験、生涯学習講座受講者）
○その他　指定管理者が認めたもの

３　利用目的　　※特定の宗教的活動や商業的活動を行うことはできません。

宿泊体験活動、自然体験活動、各教科の学習、リーダー研修、合宿、研修会　など

４　利用できない日

（１）国民の祝日に関する法律に規定する休日（４月、５月、７月及び１０月にあるものを除く）
（２）１２月２９日から翌年の１月３日までの日
（３）毎月の第３日曜日（国民の祝日に関する法律に規定する休日（７月にあるものに限る）の前日を除く。（４）について同じ）
（４）月曜日（毎月の第３日曜日の翌日、国民の祝日に関する法律に規定する休日（４月、５月、７月及び１０月にあるものに限る）及び４月３０日から５月２日までの日を除く）

５　主な施設・設備

○本館　宿泊棟（洋室・和室　計１６室　定員２００名）、食堂（２１６名収容可）
　　プレイホール『チャレンジ広場』、土間『どろんこ広場』、研修室、大浴場（男女別）
○野外　テントサイト（３カ所　約２００名宿泊可）、野外炊飯場（２カ所）
　　フィールドアスレチック、各種ハイキングコース、野外ゲームエリア『アドベンチャー広場』

６　利用料金　※支払いは施設利用期間内９：００～１７：００の間に原則として現金でお支払いください。

（１）施設使用料

利用者・利用団体	宿泊利用	日帰り利用
①幼児・小学生・中学生	無　料	
②上記①の指導者	無　料	無　料
③高校生等	１泊３９０円	
④上記③の指導者及び①～③の同伴者	１泊６３０円	
⑤大学生等及びその指導者・同伴者		利用した部屋による ※右表参照
⑥社会教育関係者	１泊３９０円	
⑦その他一般	１泊1，１２０円	

※左表⑤～⑦が日帰り利用で各部屋を使用した場合の料金

部　屋　名	使 用 料
研修室（真理）	２００円
研修室（友情）	２００円
食　堂	６４０円
チャレンジ広場	６４０円
どろんこ広場	１，３３０円

※個人等で宿泊利用は、10 名以上を原則とする。

施設使用料の徴収については各団体の構成状況や利用者の年令等によってその金額が違います。詳細は庶務担当までお問い合わせください。

（２）シーツリース料

宿　泊　別　寝　具	リース料
シーツ・枕カバー（館内泊用）	２２０円
シュラフシーツ（テント泊用）	１６０円

７　利用申込について

（１）利用申込の方法

手順①　電話等により利用が可能かどうかをお問い合わせください。
その際、利用予定日・利用人数・活動内容等についてお知らせください。【仮予約】

手順②　利用許可申請書等に必要事項をご記入のうえ、仮予約後すぐに郵送・ＦＡＸまたはメール添付にてお送りください。なお、申込内容の変更（食事数）は、休所日を除いて利用日の３日前の正午まで受け付けますので、予約時は予定数でお申し込みいただいて構いません。
※データ入力（Excel 版）での申し込みは利用申請①～となります。「利用許可申請書」は郵送・ＦＡＸまたはメール添付にてお送りください。

手順③　利用許可申請書等の確認後、自然の家から「利用許可証」を送付いたします。【予約完了】

（２）セミナー（事前研修）への参加

利用団体の指導者の方には、原則として「活用セミナー」または「フライデーセミナー」に参加していただきます。特にテント泊・野外炊飯・野外活動を予定している場合は、より安全で有効に施設を活用していただくために「活用セミナー」への参加をお願いします。

セ ミ ナ ー 名	期　　日	内　　容
活 用 セ ミ ナ ー	第1回　4月１９日(水) 第2回　5月１０日(水) 第3回　6月　４日(日) 第4回　8月２２日(火)	テント設営や野外炊飯・各種野外活動等を体験・研修し、各利用団体の代表者による活動調整会を行います。各団体で１名以上の参加をお願いいたします。**利用当日、野外炊飯を実施する場合、「野外炊飯実習」は必須です。またテント泊の団体は原則「テント設営実習」を受講ください。**
フライデーセミナー	ご相談ください。	事前相談、施設や活動場所の下見のためのセミナーです。事前予約が必要です。

Ⅱ　活動プログラムの作成にあたって

１　活動プログラムの立案

山形県飯豊少年自然の家では、自然体験活動やクラフト活動等、約４０種類の活動を提供することができます。当所の利用を申し込んでいただく際に、「いつ」「どこで」「どんな」活動を計画すれば安全で充実した活動ができるのかをよくご考慮のうえ、各団体の利用目的や年齢構成に応じて活動プログラムを立案してください。また、以下の点については特にご配慮ください。

〇利用のねらいを明確にし、ねらいを達成できるような活動内容を考える。
〇豊かな自然環境や施設の特性を充分活用し、日常生活では体験できない活動を取り入れる。
〇活動の時間を充分確保し、ゆとりを持って活動できるようにする。
〇荒天でも対応できるプログラムを考え、その場合を想定した指導・支援体制を整える。
〇各団体の代表者は、セミナーなどを利用して事前の打ち合わせや下見を入念に行う。

２　主な活動内容（※）印は活動材料費が別途必要となるもの。詳細は「３．活動経費」参照のこと。

種類	活　動　名	ね　ら　い	場　所	所要時間	期　間
自然体験活動	キャンプ（テント生活）	日常生活の利便性について考えるとともに、自然の美しさや厳しさを感じながら自然に親しむ。	テントサイト	準備から設営まで２～２．５時間	５～１０月（館内では通年）
	ハイキング（自然散策）	自然の中を歩き、植物や昆虫を観察したり景色を眺めたりしながら自然に親しむ。	自然の家周辺 ハイキングコース	１～３時間	４～１１月
	追跡ハイキング	野山に配置されたポイントを探したり問題を解決したりしながら、ハイキングを行い、自然に親しむ。	自然の家周辺 追跡ハイキングコース	２～３時間	５～１１月
	ネイチャーウォークラリー	野山に配置されたポイントを探したり、自然に関する課題を解決したりしながら、ウォークラリーを行い、自然に親しむ。	自然の家周辺 ウォークラリーコース	２～２．５時間	５～１０月
	グリーンアドベンチャー	仲間と協力して標識を探し、植物の特徴について調べることで、コースを楽しく歩きながら自然に親しむ。	自然の家周辺 ハイキングコース	１～２時間	５～１０月
	フィールドアスレチック	野山に設置されたアスレチックに挑戦し、自分の力に合わせて障害物を克服したり、体を動かしたりして楽しむ。	自然の家周辺 アスレチックコース	１時間程度	５～１１月
	フライングディスクゴルフ	フライングディスクをホールめがけて投げ、できるだけ少ないスコアで入れることができるように競い合って楽しむ。	自然の家周辺	１～２時間	４～１１月
	ナイトハイキング	仲間とともに暗闇で静寂な山道を歩くことで、日中は感じることのなかった自然の美しさや怖さを体感する。	自然の家周辺 テントサイト周辺 展望台付近	１時間程度	４～１１月
	スノーチューブすべり	タイヤチューブで斜面を滑って楽しむ。	一般駐車場上部斜面 国旗掲揚塔下斜面	１～２時間	１～２月
	スノーハイキング	スノーシューを履いて冬の野山を歩き、自然に親しむ。	自然の家周辺 ハイキングコース	半日程度	
	アニマルトラッキング	雪の野山で動物の足跡を探したり、動物の生態を考えたりして自然に親しむ。	自然の家周辺 テントサイト周辺		

種類	活　動　名	ね　ら　い	場　所	所要時間	期　間
炊飯活動	野外炊飯（※）	野外での炊飯活動を通して、火のおこし方、調理方法などを身につける。	野外炊飯場 荒天時は本館周辺軒下	４時間程度	４～11 月
	うどん打ち体験（※） ピザづくり体験（※） くるくるパンづくり体験（※）	うどんやピザ等をつくる体験を通して、自分でつくることの喜びや手づくりの味わいを楽しむ。	食　堂　他	２～３時間	通　年
	もちつき（※）	臼と杵を使って、日本の伝統的な餅つきを体験する。	いいでの広場　他	２時間程度	１１～３月
	流しそうめん（※）	涼を感じながら、仲間とともにダイナミックな流しそうめんを楽しむ。	食堂テラス	1時間半程度	７～９月
レクリエーション	火おこし体験（※）	原始的な方法による発火を体験し、火の大切さや自然の偉大さを実感する。	野外炊飯場　他 荒天時は本館軒下　他	１時間程度	４～１１月
	キャンプファイアー（※）	火を囲んで歌ったりゲームをしたりして楽しみ、仲間との親睦を図るとともに互いの絆を深める。	キャンプファイアー場	２時間程度	
	キャンドルサービス（※）		どろんこ広場　他		通　年
	館内ハイキング	館内に配置されたポイントを探したり問題を解決したりすることで、楽しみながら館内の様子を知る。	自然の家　館内	１～２時間	通　年
	館内フォトビンゴ	写真を手がかりにその場所を探すことで、楽しみながら館内の様子を知る。	自然の家　館内	１時間程度	通　年
	スラックライン	ベルト状のラインの上を歩き、バランス感覚を養うスポーツです。	自然の家周辺	１時間程度	４～１１月
	ボッチャ	赤または青のボールを投げたり、転がしたりして、白い球にどれだけ近づけられるかを競うゲームです。	チャレンジ広場	１～２時間	通　年
	モルック	木製の立てられた 12 本のピンを木の棒で倒し、得点を争います。2 人～チーム戦で楽しむことができます。	自然の家周辺 どろんこ広場	１～２時間	通　年
	集団づくりゲーム	設定された様々な課題をグループで協力して解きながら、人間関係を育む。	自然の家周辺 アドベンチャー広場	１～２時間	５～１１月
	自然体感ゲーム	自然物を利用したゲームを楽しみながら、五感を通して自然に親しむ。		２時間程度	
クラフト活動	ブンブンごま	木地に絵付けをし、自分だけのオリジナル作品を仕上げる。	研修室　他	１～２時間	通　年
	ストーンペンダントづくり（※）	滑石を削ってペンダントをつくる。	どろんこ広場　他		通　年
	壁掛けプレートづくり（※）	木の加工品を利用して、絵を描いたり木を貼り付けたりして作品を仕上げる。	研修室　他	１～２時間	通　年
	焼き杉プレートづくり（※）				
	キューブカレンダーづくり（※）				
	ネイチャーキーホルダーづくり（※） ネイチャーペンダントづくり（※）	木片や木の実などを利用し、オリジナルのキーホルダーやペンダントをつくる。			
	オリジナルカスタネットづくり（※）	２枚の木片を利用し、色をつけたり、自然物を貼り付けたりして自分だけのカスタネットをつくる。			
	いいでの自然プリント（※）	採取してきた植物の葉や茎の特徴を生かし、アクリル絵の具を塗って布地にプリントして楽しむ。			５～１０月
	竹箸づくり（※）	竹の特性を生かして、昔から伝わる玩具や生活用品をつくる。			通　年
	マイスプーンづくり（※）	木の枝を加工してスプーンやフォークに仕上げる。		１時間程度	
	マイフォークづくり（※）				
	木の実アート（※）	木の実に自由に絵をかいたり、ボンドで付けたりして、台座にかざりつける。			
	まつぼっくりツリーづくり（※）	まつぼっくりをビーズで飾る。			11～12 月
	クリスマスリースづくり（※）	植物のつるに木の実をつけてリースをつくる。			

上記活動のうち、うどん打ち体験、ピザ・くるくるパンづくり体験以外はすべて各団体の指導者の方々に進めていただくことが原則となります。前述のセミナーにご参加いただき、利用者が安全に楽しく活動できるように事前準備を入念に行ってください。それでも不明な点や不安なことがありましたら、何なりと自然の家研修担当までお問い合わせください。要請があればサポートもいたします。

３　活動経費

（１）食事料金

＜　館内食メニュー表　＞　　【税込み】

<table>
<tr><th>食事内容</th><th colspan="2">内　容　別　料　金</th><th>備　　考</th></tr>
<tr><td>朝　　食</td><td>４２０円</td><td rowspan="3">※食物アレルギー
代替え可</td><td rowspan="3">※館内食のメニューの希望はお受けいたしません。
※野外炊飯は＜野外炊飯・弁当メニュー表＞を参照ください。</td></tr>
<tr><td>昼　　食</td><td>４７０円</td></tr>
<tr><td>夕　　食</td><td>６２０円</td></tr>
<tr><td>部 活 めし
(中学生以上限定)</td><td>朝食　590 円
昼食　640 円
夕食　790 円</td><td>※食物アレルギー
代替え　要相談</td><td>ボリューム満点の高カロリー、高たんぱく食メニューです。
※夜食の提供については、要相談</td></tr>
<tr><td>飯少めし
(土日・祝日限定)</td><td>昼食　６３０円
夕食　８６０円</td><td>※食物アレルギー
代替え不可</td><td>季節毎の新鮮な地元の食材を使用した飯豊の特別メニューです。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">季節の
メニュー</td><td>めざみの春ランチ</td><td rowspan="4">普通盛 400 円
(幼児～小学校低学年向け)
ちょい大盛り 450 円
(小学校高学年以上向け)
※５大アレルゲン不使用</td><td>4 月～5 月
※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。</td></tr>
<tr><td>どんぐりランチ</td><td>9 月～11 月
※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。</td></tr>
<tr><td>クリスマスランチ</td><td>11 月～12 月
※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。</td></tr>
<tr><td>スノーランドランチ</td><td>1 月～2 月
※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。</td></tr>
<tr><td>流しそうめん</td><td>３５０円（ガス代別途）</td><td>7～9 月　調理は各団体でお願いします。
※飲み物は付きませんので水筒等を持参ください。</td></tr>
<tr><td>サツマイモ</td><td>時価（焼き芋用）</td><td>9 月～11 月※価格は 3 週間前にご確認ください</td></tr>
<tr><td>もちつき</td><td>４７０円
1 食 180g（1 合強）</td><td>11 月～3 月
納豆、雑煮、きな粉の３種類。飲み物付き。</td></tr>
<tr><td>玉こんにゃく</td><td>１本８０円</td><td rowspan="2">1 月～3 月</td></tr>
<tr><td>ココア</td><td>１杯６０円</td></tr>
<tr><td rowspan="2">うどん打ち</td><td>天ぷらつき</td><td colspan="2">４９０円（材料、えび天１尾、かきあげ代含む）<u>※ガス代別途</u></td></tr>
<tr><td>天ぷらなし</td><td colspan="2">２８０円（材料代）※ガス代別途</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ピザづくり</td><td colspan="2">一斗缶ピザ･･･シーフードピザ、ソーセージピザともに５１０円（※ガス代別途）</td><td>２種類のピザからお選びください。
<u>原則４０枚まで</u>
※一度に２０枚までしか焼けませんので、少人数向けです。</td></tr>
<tr><td colspan="2">包み焼きピザ　４１０円
※別途薪代がかかります。（1 束で 8 名まで）</td><td>一斗缶ピザで対応できないような場合は、こちらをお勧めします。</td></tr>
<tr><td>くるくるパン</td><td colspan="2">１７０円（材料, アルミホイル代を含む）
※別途薪代がかかります。（1 束で 8 名まで）</td><td>薪を使って、焚き火で焼きます。</td></tr>
</table>

【飯少めしメニュー】　※平日での食事をご希望の場合は、食事申込書提出時にご相談ください

『春』　【昼食：春のスパゲッティ、鶏唐揚げ、サラダ、スープ】
3～5 月　【夕食：たけのこご飯、牛肉と春野菜炒め、春キャベツ入りポテトサラダ、山菜汁】
『夏』　【昼食：五目冷やしそうめん、とうもろこしグラタン、バナナ】
6～8 月　【夕食：ご飯、牛肉入りハンバーグ、フライドポテト、サラダ、なす味噌炒め、野菜ジュース、スープ】
『秋』　【昼食：きのこスープスパゲティ、ケチャップ肉団子、さつま芋素揚げ、りんご】
9～11 月　【夕食：きのこご飯、ヒレカツ、ナムル、芋汁】
『冬』　【昼食：ひじきご飯、チーズハンバーグ、サラダ、オレンジ、豚汁】
12～2 月　【夕食：ビーフカレー、福神漬け、ホワイトサラダ、りんご、スープ】

【部活めしメニュー】　※中学生～大学生迄の学生、並びに各種スポーツ協会等の利用団体様限定メニューです

【朝食：ご飯、塩鮭、鶏つくね、目玉焼き、ひじき炒め煮、納豆、牛乳】
【昼食：ご飯、ビッグチキン、いかリング、サラダ、たけのこ炒め煮、山菜汁】
【夕食：メンチカツカレー、福神漬け、サラダ、フルーツヨーグルトかけ、スープ】

＜　館内食メニュー　例　＞

飯少めし『春・昼食』

飯少めし『秋・昼食』

飯少めし『冬・昼食』

飯少めし『春・夕食』

飯少めし『夏・夕食』

飯少めし『冬・夕食』

『部活めし・夕食』

『餅つき』
※雑煮、納豆、きな粉

『くるくるパン』
※薪代別途

『包み焼きピザ』
※ピザづくり体験
※薪代別途

『一斗缶ピザ』
※ピザづくり体験
※ガス代別途

『天ぷら付きうどん』
※うどん打ち体験
※ガス代別途

＜　野外炊飯・弁当メニュー表　＞

【税込み】

	メニュー名		主な内容（果物の種類は市場状況による）
朝食	コンソメスパ	400円	コンソメスープスパゲティー、牛乳、バナナ
	カートンドック	430円	ホットドック２本（パン、ウインナー）、牛乳、バナナ ※薪は使いません。空の紙パック（１L）を一人２個持参してください。
	牛乳パックDeホットサンド	480円	ホットサンド２個（食パン、ハム、チーズ）、牛乳、バナナ ※薪は使いません。空の紙パック（１L）を一人２個持参してください。
	いいでバーガー	520円	バンズ１セット、ハンバーグ（冷凍）、スライスチーズ、牛乳、レタス※4名で１枚　※ガス代別途
昼食・夕食	ポークカレー ※5大アレルゲン対応	600円	ご飯、ポークカレー、サラダ、果物、お茶（紙パック） ※薪代別途
	ワイワイ焼きそば	600円	やきそば（肉・野菜入り）、サラダ、果物、お茶（紙パック） ※薪代別途
	ジュージュー焼き	600円	ご飯、焼肉、野菜、お茶（紙パック）※薪代別途
	芋煮（9～11月限定）※価格は相談		芋煮、ご飯 または カレーうどん、付け合せ※薪代別途
簡単炊飯	かんたんボイルカレー	440円	温めるだけの簡単炊飯（果物、お茶（紙パック）付き） ※ガス代または薪代別途かかります
	かんたんボイル牛丼	610円	
	かんたんサバの味噌煮	490円	
	かんたんうどん	420円	即席カップうどん（かき揚げ、ダシ付き）※ガス代別途
※飲み物付きお弁当	いいで弁当	570円	ご飯、コロッケ、ウインナーなど　※携行用容器を使用
	豚しょうが焼き弁当	570円	ご飯、豚バラ肉、かまぼこ、キャベツなど　※携行用容器を使用
	メンチカツ弁当	570円	ご飯、豚挽き肉、紅鮭、コロッケ、卵ロールなど ※折り詰め容器を使用　【提供時期は10月～3月となります】
	わいるど弁当	710円	ご飯、手羽元唐揚げ、卵ロール、ブロッコリー、ミニトマト ※携行用容器を使用

※各メニューは、それぞれの食事の時間に適したものですが、昼食・夕食のメニューを朝食で調理することも可能です。

①野外炊飯をする場合は、以下の点にご留意ください。

○各野外炊飯メニューや、うどん打ち体験、ピザづくり体験は班編成が必要となります。
５～８名で班を編成してください。

○「カートンドック」「牛乳パックＤｅホットサンド」以外は野外炊飯用薪、またはガスコンロが必要となります。
（炊飯用薪　　１束３３０円　１束で５～８人の１食分の炊飯が可能）。
（卓上コンロ　１台１５０円　湯煎やお湯を沸かす際の時間短縮に最適です）
（ガスコンロ　１基６００円　うどん、そうめんの湯煎やお湯を沸かす際に使います）

○１回の食材提供で複数のメニューを希望する場合は、１メニュー２０人以上および３メニュー以内にしてください。　※ごはんの大盛りや品数追加をご希望の場合はご相談ください。

②野外炊飯とセットになっているお茶（紙パック２００mL）を牛乳に変更することも可能です。

③一斗缶ピザにかかるガス代　１０口まで６００円、１１口～２０口1,２００円

【食物アレルギーの対応について】

５大アレルゲン不使用や代替え食の提供を行っております。アレルギー等で食事制限の必要がある場合は、必ず事前にご相談ください。

※「給食申込書」の特記事項欄に、詳しくご記入ください。

※完全除去食への対応は出来ませんので、利用団体様より弁当等を持参していただく対応をお願いいたします。予めご了承ください。

＜　野外炊飯・弁当　盛り付け例　＞

コンソメスパ

カートンドック

牛乳パックＤｅホットサンド

いいでバーガー①

いいでバーガー②

ホットプレート、または牛乳パックで調理

わいるど弁当

ポークカレー

ジュージュー焼き

ワイワイ焼きそば

メンチカツ弁当

いいで弁当

豚しょうが焼き弁当

① 弁当の提供場所は、食堂内のカウンター付近です。団体名の表示を確認の上、団体ごとにお持ちください。
② 弁当のゴミは、厨房から提供するごみ袋にいて、当所のごみ収集所に出してください。
※割りばしや食べ残しは、新聞紙等にくるんでから捨てるようお願いします。

（２）材料料金

＜　炊飯活動・クラフト活動表　＞

【税込み】

	活　動　材　料　名	料　　金	備　　考
炊飯活動他	キャンプファイアー用薪	大　４０００円 中　１５００円 小　　３３０円	束のまま残ったものは返却可 「小」は野外炊飯用薪と同じもの
	スウェーデントーチ	１本１０００円	十字に切り込みを入れた丸太に、直接火をつけて焚き火にします
	灯油	１Ｌ　１３０円	１Ｌ以上の残りは返却可。
	トーチ棒セット	１セット　３０円	トーチ用棒、布、針金のセット
	ローソク（キャンドルサービス用）	１本　　２０円	燭台も使用可
	炊飯用薪	１束　３３０円	束のまま残ったものは返却可
	卓上コンロ	１台　１５０円	使用しないものは返却可
	ガスコンロ	１基　６００円	１基で五徳２台まで使用可能
	液体洗剤(自然環境に考慮した天然成分の洗剤)	１本　２５０円	450ｍＬ　使用しないものは返却可
	電池（単二電池）	１本　　６０円	CDラジカセ、ワイヤレスアンプに使用
	電池（単三電池）	１本　　３０円	ランタンに使用

【税込み】

種　別	活　動　材　料　名	料　　金	備　　考
クラフト活動	ひもぎり式火おこしセット	１セット　１１０円	使用しないものは返却可
	火打石式火おこしセット	１セット　２２０円	
	まいぎり式火おこしセット	１セット　３３０円	
	ブンブンごまセット	１セット　　９０円	マジック、木工用ボンド、グルーガン、ペンチ、ハサミ、ピンセット等を活動に応じて貸出します。 残ったものは返却可
	ストーンペンダントセット	１セット　２００円	
	壁掛けプレートセット	１セット　２３０円	
	キューブカレンダーセット	１セット　２７０円	
	ネイチャーペンダントセット	１セット　　９０円	
	ネイチャーキーホルダーセット	１セット　　９０円	
	オリジナルカスタネットセット	１セット　１５０円	
	ネイチャーラビリンス	１セット　２３０円	
	ネイチャーコルクボード	１セット　２５０円	
	焼き杉プレートセット	１セット　２２０円	
	手回しごまの絵付け	１個　１５０円	
	竹箸	１膳　　２０円	
	マイスプーン	１本　１５０円	
	マイフォーク	１本　１５０円	
	木の実アート	１セット　８０円	
	まつぼっくりツリーセット	１セット　　９０円	
	クリスマスリースセット	１セット　３３０円	
	いいでの自然プリント用アクリル絵の具	１人分　　８０円	

① 申込んだ材料数に変更がある場合は、入所事務の際にお申し出てください。束のものは解かずに返却してください。

② クラフト活動をする場合は、以下の点についてご留意ください。
○貸し出した用具は、整理整頓のうえ返却してください（特に、絵の具皿や筆など）
○水性絵の具や木工用ボンドなど、使い切った際は必ず所員にお知らせください。
○「焼き杉プレート」では、たき火で杉板を焼く作業過程が必要となります。杉板１０枚で薪１束を使用します。活動人数に応じて薪（１束３３０円）をご注文ください。

＜　野外活動・クラフト活動　画像　＞

スウェーデントーチ

火おこし【ひもぎり式】

【火打石式】

【まいぎり式】

ネイチャーペンダント

マイスプーン/フォーク

いいでの自然プリントＴシャツ

ストーンペンダント

壁掛けプレート

キューブカレンダー

ネイチャーラビリンス

ネイチャーコルクボード

オリジナルカスタネット

焼き杉プレート

木の実アート

まつぼっくりツリー

クリスマスリース

ブンブンごま

手回しごまの絵付け

4 貸し出し用具一覧

★施設外への貸し出しは、原則として行っておりません。

種類	用具名	数量
体験活動用具	ドームテント一式（６人用）	２５張
	ドームテント一式（５人用）	８張
	シュラフ	３００個
	テント泊用銀マット	６０枚
	電池ランタン（単三３本使用）※１	１４個
	ハイキングコース地図セット	２５セット
	追跡ハイキング地図セット	２５セット
	ネイチャーウォークラリー地図セット	２０セット
	グリーンアドベンチャー地図セット	２５セット
	フライングディスクゴルフ用具（２０人分）	１組
	トレッキングポール	１５本
	タイヤチューブ（冬期のチューブすべり用）	４０個
	スノーシュー　大人用	２４セット
	スノーシュー　子ども用（大）	１５セット
	スノーシュー　子ども用（小）	２４セット
	スノーハイキング用ストック	５０セット
	双眼鏡	５台
	リヤカー	１５台
レクリエーション	火の神衣装（服・冠）	６セット
	火の巫女衣装（服・冠・腰ひも）	６セット
	キャンドルサービス　個人用燭台	２００個
	キャンドルサービス　メイン燭台	３台
	館内ハイキング地図セット	２５セット
	館内フォトビンゴセット（９マス、１６マス、２５マス）	各２０セット
	竹馬	１０組
	ストラックアウトセット	２セット
	卓球用具一式	１セット
	和太鼓	２台
	スラックライン	３本
	ボッチャ	３セット
	モルック	３セット

種類	用具名	数量
炊飯活動用具	野外炊飯コンテナ（炊飯用具一式）	４０セット
	食器類（平皿・お椀・スプーン等）	４００人分
	なべ（大と小あり）	１００個
	鉄板	２０枚
	組み立てテーブル	５０脚
	丸イス	１９０脚
	なた	１５丁
	炊飯用一斗缶	５０缶
	一輪車	３台
	うどんづくり用具セット　※２	１９セット
	もちつき用具一式	２セット
クラフト用具	小刀	５０丁
	きり	７０丁
	デコラソー（工作用のこぎり）	４０丁
	グルーガン	２０台
視聴覚機器	CDラジカセ（単二６本使用）※１	１台
	ワイヤレスアンプ一式（単二８本使用）※１	１台
	ワイヤレスマイク	１台
	黒板	１台
その他	折り畳み式長机	３５台
	パイプ椅子	１２０脚
	ホワイトボード	２台

※１　乾電池は持参いただいても、本所でお買い求めいただいても結構です。

※２　うどんづくり用具は、そばづくりでも使用しております。アレルギー等配慮ください。

☆その他、必要な物がありましたらご相談ください。

貸し出した用具は、各団体の代表者が責任を持って元の場所に返却してください。ただし、以下の用具を返却する際は必ず所員に連絡し点検を受けてください。所員への連絡は、どろんこ広場内にある内線電話をご利用ください。（事務室は内線１３番）

〇ドームテント一式　〇野外炊飯コンテナ　〇食器類　〇なべ　〇鉄板

５　バス利用について

自然の家では、各団体の送迎や広域活動に利用することができる大型バスを所有しています（無料）。
バスの利用を希望される場合は、事前に予約状況を確認していただき、様式４「バス利用申込書」に必要事項をご記入のうえ、利用日の３週間前までにご提出ください。

◆乗車人数　　座席数４３（補助席を含む）

◆運行時間　　４～１２月　　８：４０～１６：００
　　１～　３月　　９：３０～１６：００
　　※この時間帯以外のバス運行については、事前に研修担当までご相談ください。

◆利用条件　　①本所事業に関わる送迎
②最寄の駅（羽前椿駅、今泉駅、羽前小松駅）までの送迎
③小・中学校の学校行事における学校までの送迎
④自然の家での活動に含めて広域活動・広域学習を行う場合　※当所に帰着のこと
⑤その他、指定管理者が認めた場合

広域活動・広域学習（例）　★活動エリアへの利用申し込みは各団体で行ってください。

方面	活　動　エ　リ　ア	主な活動内容	活動見学時間	バス所要時間（片道）
飯豊町	源流の森（※）	陶芸、プロジェクトアドベンチャー体験、ぶな林散策 等	半日～２日	約３５分
	白川湖畔公園（※）	パークゴルフ 等	１～３時間	約３５分
	白川ダム	見学	１～２時間	約２０分
	宇津峠	峠散策	３～４時間	約１５分
	いいで天文台（※）	星座観察・天体観測	約１時間	約１０分
	飯豊町民スポーツセンター（※）	クライミング体験	約１～２時間	約１０分

（※）印は入館料や見学料、活動費用が別途必要となる場合がある活動エリアです。

６　利用前の準備

（１）事前打ち合わせ

利用日の１週間ほど前までに、日程や食事数、用具数等を電話またはＦＡＸ・メールにて確認させていただきます。不明な点がありましたら早めにご連絡ください。

（２）事前指導

自然の家での活動が有意義ものとなるように､以下の点について利用者への事前指導をお願いします。
①自然の家での活動に関するねらいや心がまえ
②自然の家を利用するにあたってのきまり
③日程や活動内容

（３）準備品等

①各団体でご準備いただくもの
○緊急搬送用乗用車１台　　→事務室前駐車場をご利用ください。
○常備薬や救急医薬品等　　→自然の家にも簡単な救急医薬品は備えております。
○野外炊飯やその他団体で必要なもの　　→ゴミ袋、スポンジ、金だわし、ふきんなど

②持ち込みを原則として禁止しているもの
○おやつ、お菓子
○ゲーム類
○食材料

Ⅲ　自然の家の利用について

≪宿泊にかかわって≫

◆研修プログラムを必ず設定してください。内容等については研修担当にご相談ください。
◆朝食・夕食は必ずお摂りください。ただし、少人数の場合は提供できないことがあります。
◆宿泊部屋の清掃は必ず行ってください。
◆１７：００まで入所してください。また、退所は原則８：３０以降となります。

１　入所にあたって　　※１７:００まで入所してください。

入所時、以下のような流れでお願いします。

自然の家に到着

↓

原則、自家用車、バス等は一般駐車場に駐車してください。事務室に用事のある方や緊急搬送用車両のみ事務室前駐車場に駐車してください。

入 所 受 付

↓

各団体の代表者の方は、まず事務室におこしください。
以下の点について確認させていただきます。

①利用人数・食事数の確認、活動材料数等の変更の有無
②活動プログラムの変更の有無
③緊急時のための連絡先（携帯電話番号）
④代表者打ち合わせについて
⑤施設の規則や利用上の配慮事項
⑥諸経費の支払い時間について
⑦利用団体カード、アンケート等の記入依頼

この段階での食事数の変更はできませんのでご注意ください。変更に対応できるのは寝具利用数、活動材料数のみです。

であいのつどい

↓

開会行事として「であいのつどい」の時間を必ず設定してください。
各団体で企画・進行をお願いします。

例　①開会のことば　　④自然の家所長あいさつ
　　②歌　　⑤利用者代表のあいさつ
　　③団体代表者のお話　　⑥閉会のことば

「であいのつどい」の中に④は必ず設定してください。

オリエンテーション

↓

必ず設定してください。「であいのつどい」の終了後、引き続き研修担当より利用上の注意事項やベットメイキングについてお話しさせていただきます。
※オリエンテーションは１０分程度です。ベットメイキングについては別の時間に設定していただいても構いません。

シーツ類の受け取り（宿泊される場合のみ）

宿泊される場合は、シーツ貸し出し場所（リネン室前）に必要となるシーツ類が準備されていますので、団体名の表示を確認のうえ、各自お持ちください。

◆館内泊　……　１人分　シーツ２枚＋枕カバー１枚
◆テント泊　……　１人分　シュラフシーツ１枚

２　自然の家での生活・活動

自然の家では、計画した活動プログラムにそって生活・活動していただくことになりますが、基本的には各団体の指導者・引率者の方が中心となって指導・引率にあたってください。なお、自然の家は社会教育施設ですので様々なきまりや約束があります。利用者全員に周知徹底を図り、きまりや約束を守り、他団体の迷惑にならないようにご留意ください。

（１）食事について　※施設運営上、少人数の場合は朝食・夕食が提供できないことがあります。

①館内食（食堂内）はセルフサービスです。配膳から後片づけまで各団体でお願いします。

配　膳；右手前方より順にお取りください。

食　事；お茶の入ったやかんや調味料等は全員で順にお使いください。

片づけ；テーブルごと食器類を集め、表示（種類別）にしたがって返却してください。

②食堂では複数の団体が一緒に食事をします。座席は奥のほうから順につめて座ってください。

③食事・野外炊飯用食材・弁当の提供時刻は以下のとおりです。

食事内容	館　内　食	野外炊飯用食材	弁　　当※3
朝　　食※1	７：３０	６：１５～	提供なし
昼　　食	１２：００	９：３０～	9:00～13:00
夕　　食	１７：３０	１４：３０～※2	１７：００～

弁当の提供場所は食堂内のカウンター付近です。団体名の表示を確認の上、団体ごとお持ちください。

※1　１１～３月の冬期間は、朝食が７：４５となります。

※2　活動内容により食事提供時刻に間に合わない場合は、事前にご相談ください。
夏季の野外炊飯用食材(肉)の提供時間は食品衛生上１５：００以降、もしくは調理直前でお願いいたします。

※3　昼食の弁当は、提供時刻を９：００～１３：００の間で指定してください。

（２）代表者打ち合わせへの参加

宿泊する団体が複数ある場合は、夜から翌朝にかけての活動について、互いに確認したり活動時間の調整を図ったりするために、各団体の代表者による打ち合わせを行います。必ず参加してください。

◆時　間　　１７：００～　２０分程度

◆場　所　　所長室または避難小屋

◆内　容　　○食事や入浴の時間についての確認と調整
○夜から翌朝にかけての活動についての確認と調整
○夜間の緊急連絡、非常時の体制についての確認　　等

（３）入浴について　　※施設運営上、少人数の場合入浴できないことがあります。

①男女別の表示をよく確認のうえ、節水に心がけて利用してください。

②シャンプー・ボディシャンプーは備え付けてあります。

③入浴後は使用した洗面器や椅子をきちんと重ねて片付けてください。

④脱衣所が汚れないように、身体をよく拭いてからあがるようにしてください。

⑤入浴時間は原則として２０：００～２２：００です。複数の団体が利用する場合は入浴時間を制限させていただく場合がございます。活動内容が入浴時間と合わない場合は、事前にご相談ください。なお、安全上、浴室は２２：１０に施錠させていただきます。

⑥入浴できるのは原則として館内泊の団体のみです。テント泊の団体で入浴を希望される場合は事前にご相談ください。

（４）清掃・ごみの処理

①活動終了時には、次に使う利用者のために、必ず活動場所の清掃をしてください。なお、館内泊の場合は原則として朝（７：００～）に宿泊部屋の清掃をしてください。

②清掃用具は館内の各所に表示してありますので、確認してください。

③利用者が持ち込んだものから出たごみは、持ち帰りをお願いします。

④宿泊部屋のごみ箱には可燃ごみのみ捨ててください。また、ごみ箱のごみは朝の清掃時に事務室わきの大きいごみ箱に捨ててください。

＜ ごみの処理方法 ＞

活　動	ごみの種類	処理の方法
野外炊飯のごみ	生ごみ、食べ残し、紙類、アルミホイル、食品が付着したビニール（マヨネーズ等の袋）、わりばし、食品トレー、発砲スチロール、ポリ袋　等	各団体で準備した透明または半透明のごみ袋に入れて、当所のごみ収集所に出す。 わりばしは、新聞紙にくるんで捨てる（ごみ袋が破れないように）。
自然の家から提供した弁当のごみ	食べ残し、醤油やソース等の袋、かざり類、容器とふた、わりばし等	厨房から提供するごみ袋にいれ、当所のごみ収集所に出す。食べ残しは新聞紙にくるんでから捨てること。 容器とふたは、種類ごとに重ねるなど、できるだけコンパクトにして袋に入れる。 わりばしは、新聞紙にくるんで捨てる（ごみ袋が破れないように）。
	厨房から提供したペットボトル	ペットボトルと一緒に提供されるごみ袋に入れて、ごみ収集所に出す。（生ごみなどと分ける。）
クラフト活動のごみ	削りかす、木片、紙くず　等	各団体で準備したごみ袋にまとめるなどして、事務室わきのごみ箱に分別して捨てる。
宿泊棟のごみ	ほこり、紙くず、ちり紙　等	各部屋のごみ箱、各団体で準備したごみ袋にまとめるなどして、事務室わきのごみ箱に分別して捨てる。

（５）健康・安全管理

①健康面で心配な利用者がいる場合は、事前にご相談ください。また、アレルギー等で食事制限の必要がある場合は必ず事前にご相談ください。なお、除去食・代替食については限界があり、対応できかねる場合がございますので、ご了承ください。

②負傷者や発病者が発生し、保健室の利用が必要な場合は、直ちに事務室（内線１３）まで連絡してください。夜間は舎監室（内線１５）に連絡してください。

③体調不良者等が出た場合、保健室の利用も可能です。エアコンも設置されております。

④非常時の避難経路、避難場所等を必ず確認してください。なお、火災等により避難の必要が生じた場合は、緊急非常放送によりその旨を連絡します。落ち着いて放送の指示に従ってください。各団体の指導者・引率者は、利用者の避難・誘導にご協力ください。

⑤敷地内全面禁煙です。活動エリアもすべて禁煙です。ご協力をお願いします。

⑥衛生管理上、宿泊部屋での飲食は厳禁とさせていただきます。

⑦研修生入口は２２：３０に施錠します。それ以降の出入りはご遠慮ください。

⑧２３：００に消灯していただきますようお願いします。

３　退所にあたって　　※原則、退所は８：３０以降となります。

清掃・シーツ類の返却（宿泊された場合のみ）　※返却は翌朝９：００までお願いします

宿泊された場合は、使用した部屋を清掃して所員の点検を必ず受けてください。また使用したシーツは下記のようにして返却してください。

◆館内泊　……　部屋ごと１枚のシーツにすべて集め、風呂敷包みにしてリネン室前の返却場に返却する。

◆テント泊　……　テントごと１人のシュラフシーツに詰め込んで、どろんこ広場入口の銀色の袋に返却する。

利用料金等の支払い　※施設利用期間内９：００～１７：００の間にお願いします

原則として現金でお支払いください。事務室にて庶務係が対応します。

利用団体カード、アンケート等の提出　※退所前に必ず提出してください

わかれのつどい

閉会行事として「わかれのつどい」の時間を必ず設定してください。各団体で企画・進行をお願いします。校旗・団旗等を掲揚している場合は、この時点で降納してください。

例　①開会のことば　②ふりかえり・感想発表　③団体代表者のお話　④自然の家所長あいさつ　⑤利用者代表のあいさつ　⑥閉会のことば

「わかれのつどい」の中に④は必ず設定してください。

～自然の家での生活・活動例（１泊２日館内泊の場合）～

＜　１　日　目　＞

時　刻	活　動　内　容
１０：００	入所・であいのつどい
１０：３０	追跡ハイキング　等
１２：００	昼食（持参弁当）　～13:00
１３：００	フィールドアスレチック　等
１４：００	野外炊飯準備
１５：００	食材提供
１６：３０	夕食（野外炊飯）　～17:15
１７：００	代表者打ち合わせ
１７：１５	後片付け
１８：００	ベットメイキング
１９：００	キャンプファイアー
２０：３０	入浴
２１：３０	ふりかえり・反省会
２２：００	就寝

＜　２　日　目　＞

時　刻	活　動　内　容
６：００	起床・寝具整理
６：４５	朝のつどい・体操
７：００	宿泊部屋の清掃
７：３０	朝食（館内食）　～8:30
８：３０	クラフト活動　等
１０：３０	わかれのつどい・退所

Ⅳ　活動展開例

Ⅳ－１　館内泊

飯豊少年自然の家には館内に２００名が宿泊可能です。宿泊することで、時間的なゆとりが生まれるだけでなく、夜間の活動も可能になります。また、仲間と一緒に過ごす夜は一人ひとりの思い出をよりいっそう深めてくれることでしょう。

１　ねらい　　集団宿泊体験を通して規則正しい生活習慣を身につけ、仲間との団結力を高める。

２　宿泊場所（位置関係については資料－９「館内平面図」参照のこと）

＜　１　Ｆ　＞

種　類	部　屋　名	定　員
和洋室	たけとり	８名
洋　室	あかおに	１６名
洋　室	てんぐ	１６名
洋　室	こぶとり	１６名
洋　室	さるかに	１６名
和　室	リーダー室１	２名

＜　２　Ｆ　＞

種　類	部　屋　名	定　員
洋　室	まつかさ	１６名
洋　室	かやのみ	１６名
洋　室	いがぐり	１６名
洋　室	どんぐり	１６名
和　室	吾　　妻	１４名
和　室	眺　　山	１４名
和　室	葉　　山	１４名
和　室	朝　　日	１４名
和　室	リーダー室２	２名
和　室	リーダー室３	４名

３　対　　象　　幼児から一般まで　　※　施設運営上、少人数の場合は食事やお風呂の提供ができない場合もございますのでご承知おきください。また、事前に問い合わせのうえ、宿泊の可否確認をお願いします。

４　館内泊の留意点

◆ベッドメイキングは、研修担当より説明の後、利用者各自で行っていただきます。であいのつどい後のオリエンテーションや入室前に、必ず説明の時間を設定してください。

◆寝具の片付けも利用者が自分で行ってください。寝具のたたみ方に気をつけ、元と同じように整理整頓をお願いします。

◆退室前には宿泊室内の清掃を必ず行ってください。特にベッドの下部にほこりがたまりますので、気をつけてください。清掃後に研修担当が点検させていただきます。

◆清掃用具の場所は室内に表示されています。使い終わったら元と同じように片付けてください。

◆原則としてごみはお持ち帰りをお願いします。特に、缶、ビンやペットボトル等の不燃ごみはごみ箱に捨てないでください。

◆宿泊部屋にのみごみ箱を設置しております。可燃ごみのみ捨ててください。また、ごみ箱のごみは清掃時に事務室わきのごみ箱に捨ててください。

◆リーダー室以外の宿泊部屋には、コンセントはありません。

◆携帯電話はほとんどの場所でつながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。

◆非常時の避難経路を必ず確認してください。なお、火災等により避難の必要が生じた場合は、緊急非常放送によりその旨を連絡します。落ち着いて放送の指示に従ってください。各団体の指導者・引率者は、利用者の避難・誘導にご協力ください。

◆敷地内全面禁煙です。館内はもちろんのこと活動エリアはすべて禁煙です。ご協力のほどお願いします。

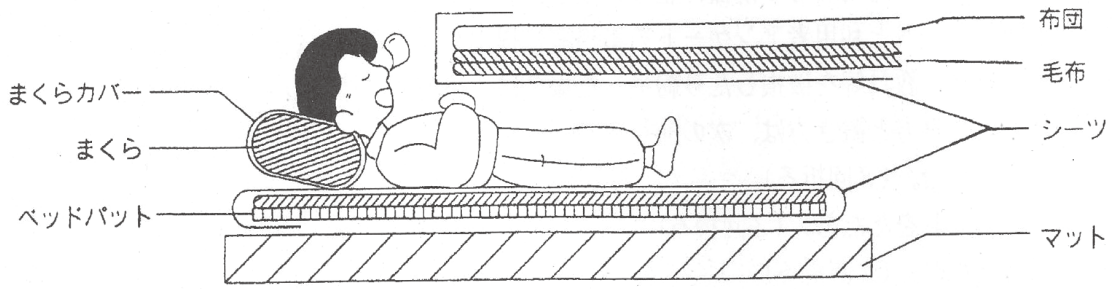
◆衛生管理上、宿泊部屋での飲食は厳禁とさせていただきます。

◆研修生入口は２２：３０に施錠します。それ以降の出入りはしないでください。

資料　ベッドメイキングと後片付け

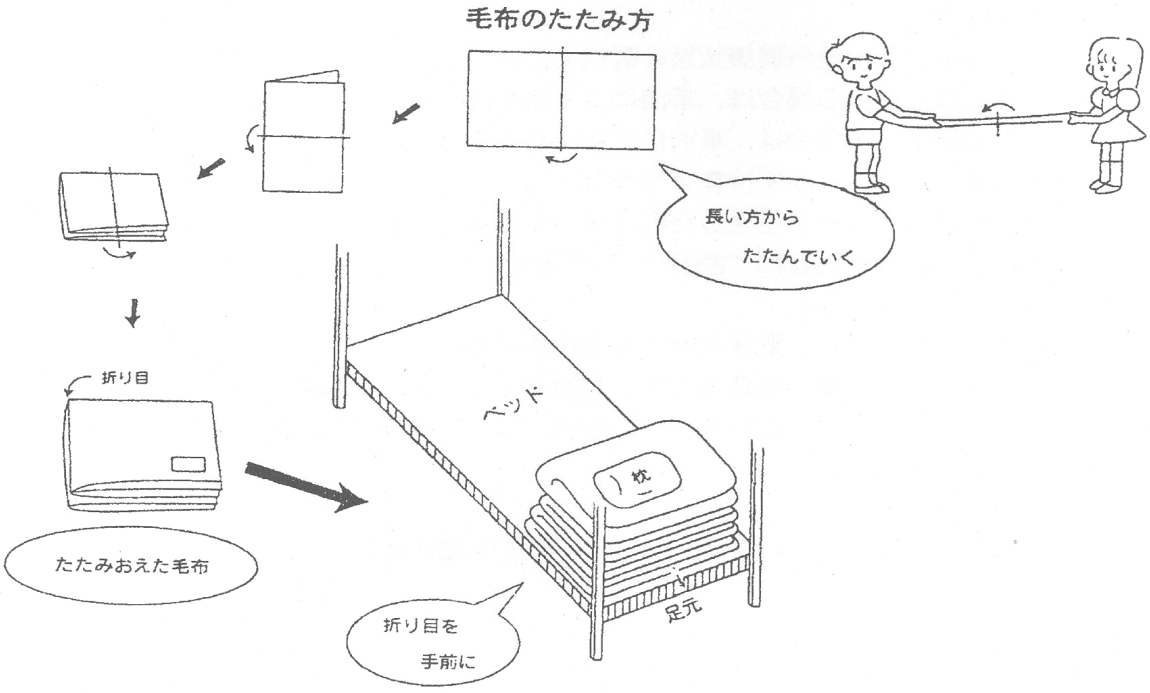
1　ベッドメイキング

①マットレスの上にベッドパットを敷く。
②ベッドパットの上にシーツを１枚敷き、端を折り返す。
③その上にもう１枚のシーツ、毛布（必要に応じて）、掛け布団（必要に応じて）を敷く。
④２枚目のシーツの顔があたるほうを折り返す。
⑤枕に枕カバーをつける。
⑥シーツとシーツの間に入って寝るようにする。



2　後片付け

①枕カバー、シーツ２枚を取り除く。
②枕カバー、シーツは部屋ごと銀色の袋に入れて返却する。
③掛け布団とマットレスは２回、毛布とベッドパットは長い辺を３回折りたたみ、折り目が手前になるようにして元と同じように重ねる。



Ⅳ－２　テント泊

キャンプといえばテント泊。野外で過ごす一夜には、夜の静けさや風にゆれる木々のざわめき、動物や虫の鳴き声など、日常生活では味わうことのできないすばらしい経験が待っていいます。仲間と語らいながら過ごした時間は、心に残る大切な思い出をもたらしてくれることでしょう。

１　ね ら い　　○野外での宿泊体験を通して日常生活の利便性について考えるとともに、自然の美しさや厳しさを感じながら自然に親しむ。
○テントの設営や撤収などの協同作業を通して、野外生活への意欲を高めるとともに、互いに協力することの大切さに気づく。

２　活動場所　　まつかさテントサイト（２０張）
くりの木テントサイト（２０張）

３　所要時間　　用具準備～設営まで→２～２．５時間　　撤収～用具収納まで→１～１．５時間

４　対　　象　　希望される団体全て（ただし、利用にあたっては原則活用セミナーを受講すること。出前講座や貸出による事前練習については要相談）

５　実際の活動

（１）用具の準備

テント用具は以下の場所に保管してあります。「テント用具・点検カード」をご覧いただき、点検・確認しながら各団体でご準備ください。

型	ドームテント（６人用・５人用）
特性	家庭用にも普及しているドーム型のテント。設営が比較的簡単で、居住性に優れている。
保管	どろんこ広場内テント倉庫
必要物品	・テント本体、フライシート（１セット） ・ポール（３本一組）　・グランドシート ・ペグ（１２本）　・金づち（２本） ・銀マット（２または３枚）

（２）設　　営

①設営場所やその付近に、蜂の巣、鋭利な石などがないか、安全を確認する。
②テントを設営する場所をできるだけ平らにし、日陰、風向きなどを考えてテントの向きを決める。
③テントを設営する。設営方法の詳細については次ページ以降を参照のこと。

（３）撤　　収

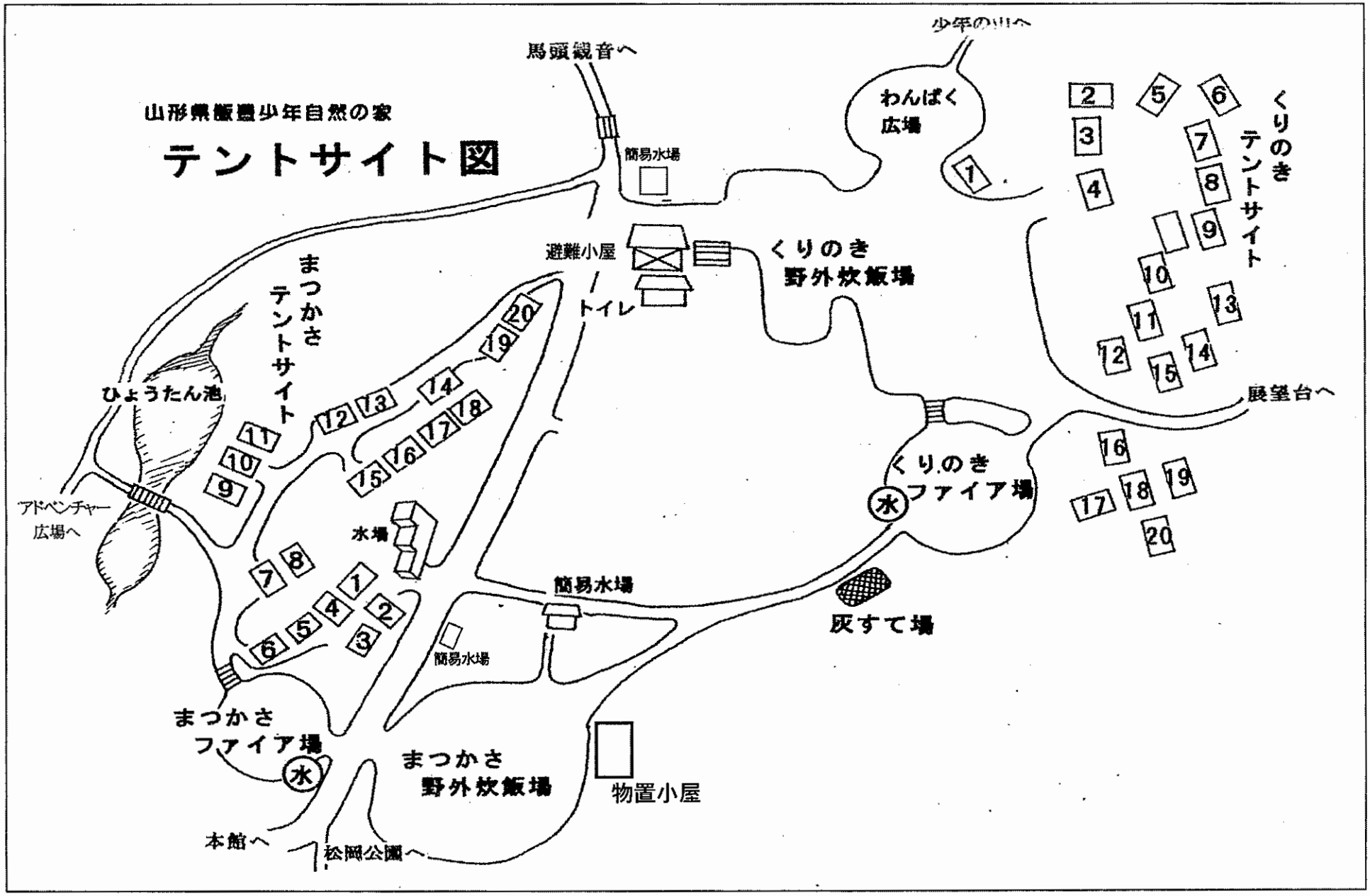
①撤収を始める前にテント入口を開放し、日光に当てるなどして湿気を取るようにする。
②テント内から荷物を全て出す（忘れ物のないように気をつける！）。
③テント内のごみを拾い、清掃する（次の人が気持ちよく使えるように！）。
④テントを撤収する。撤収方法の詳細については次ページ以降を参照のこと。

（４）用具の返却

返却時にたたみ方や汚れなどを確認しますので、必ず所員をお呼びください（内線１３）。汚れがひどい場合は、その後の活動を変更していただき、洗う・拭く・干すなどの活動をしていただく場合もありますのでご承知おきください。

６　指導上の留意点

◆例年、テント内に忘れ物が多いようです。撤収時に再度忘れ物がないか確認させてください。
◆破損や紛失した場合は所員に必ずお申し出ください。
◆**テントの汚れを拭くためのぞうきんは、各団体で必ず準備してください。**

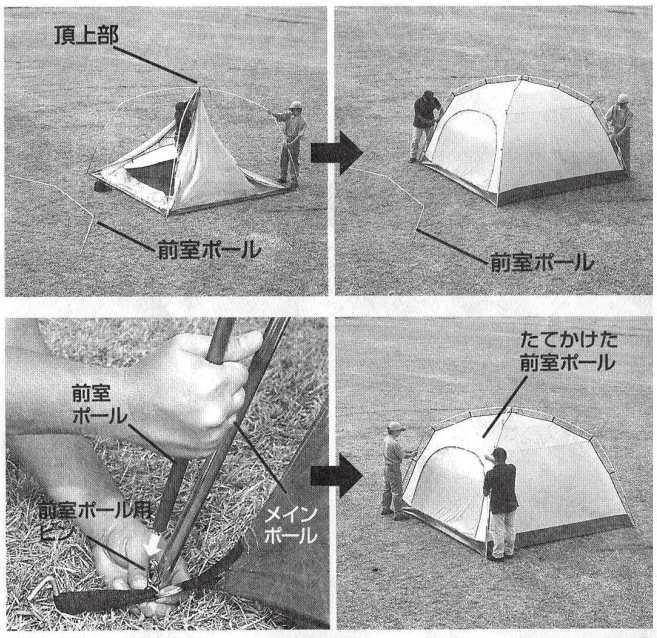

山形県飯豊少年自然の家
テントサイト図
馬頭観音へ
少年の川へ
わんぱく広場
簡易水場
避難小屋
トイレ
くりのき野外炊飯場
くりのきテントサイト
展望台へ
まつかさテントサイト
ひょうたん池
アドベンチャー広場へ
水場
くりのきファイア場
簡易水場
灰すて場
まつかさファイア場
まつかさ野外炊飯場
物置小屋
本館へ
松岡公園へ

資料【ドームテントの設営と撤収について】

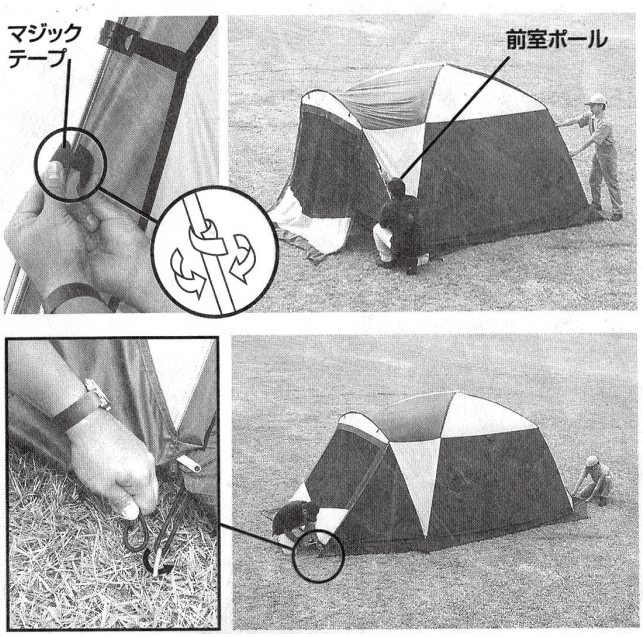
ドームテントの設営手順（約１時間）

①グランドシートを敷き、テント本体を広げる。
②２人組で端に気をつけながらメインポールを組み立てていく。
③メインポール（２本）をテント上で交差し、四隅にあるピン（大）をポールに差し込む。
　※５人用はポールがすでに一体化されているので、組み立ての際に交差させる必要はない。
④入口のファスナーを閉め、ポールにフックをかけていく（頂上部から下のほうに）。
⑤入口を決め、前室ポール（下部が青いもの）にピン（小）を差し込み、たてかけておく。
⑥四隅のループにピンを打ち込み、テントを固定する。
⑦フライシートを本体にかぶせ、裾部のＳフックをテント本体四隅のリングに引っ掛ける。
⑧フライシート内側のマジックテープをすべてポールに巻きつけて固定する。
⑨フライシートをペグで固定する。

テント本体にポールを固定する（手順③～⑤）



フライシートを固定する（手順⑥～⑨）

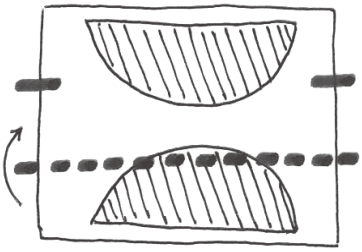


ドームテントの撤収手順（約３０分）

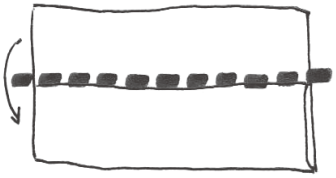
①設営時と逆の順にペグを抜いていく。
②抜いたペグは泥を落とし、数を確認してすぐに袋に入れる。けっして地面には置いておかないこと。
③マジックテープをはがし、フライシートをはずす。
④入口のファスナーを全開し、テント内のごみを出す。
⑤入口のファスナーは開けたまま、フックをはずす（下から頂上部のほうに）。
⑥２人組になってポールの両端からたたみ、収納袋に入れる。
⑦泥や汚れを落とし、グランドシート・テント本体・フライシートをたたむ。※２１ページの図参照
⑧テント本体・フライシートを収納バックに入れる。（５人用はポールも一緒に入れる）

テント本体

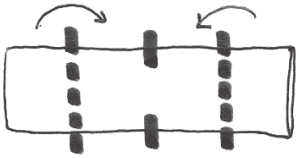
①３等分になるようにたたむ



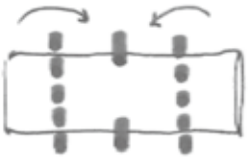
②さらにもう一度たたむ



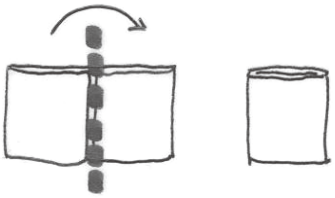
③両端を真ん中にたたむ



④③のようにもう一度たたむ

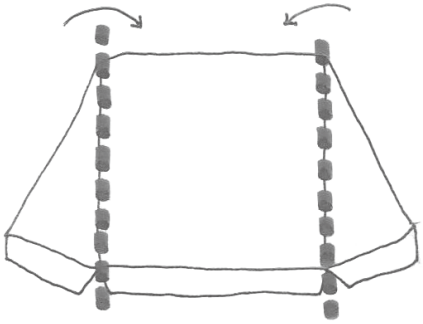


⑤片方にたたんで完成

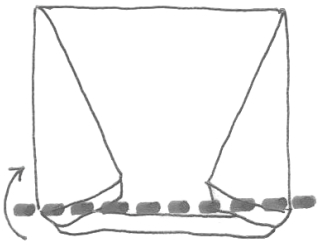


フライシート

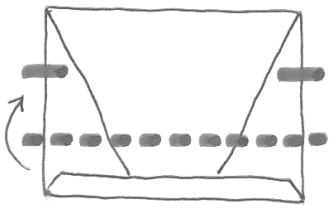
①台形になるように広げて両端を内側にたたむ



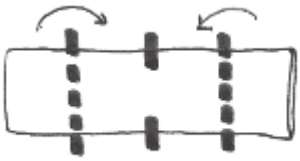
②裾を内側にたたむ



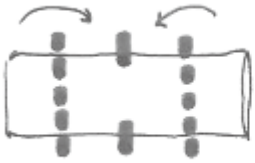
③３等分になるようにたたむ



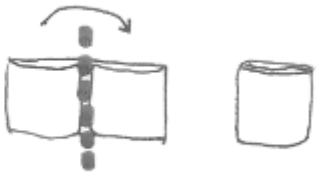
④両端を真ん中にたたむ



⑤④のようにもう一度たたむ

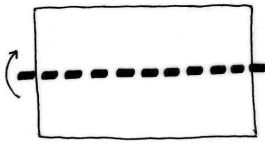


⑥片方にたたんで完成



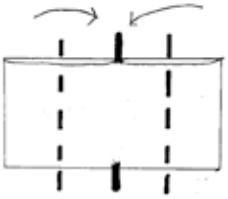
グランドシート

①どろやほこりをとって真ん中からたたむ

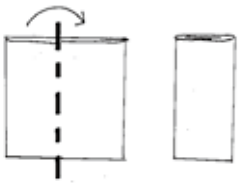


②さらにもう一度たたむ

③両端を真ん中にたたむ



④折り目に沿ってたたんで完成



Ⅳ－３　野外炊飯

自分たちでつくり、野外で食べるご飯は最高の味わいです。煙たさに耐えながら火をおこしたり、薪を使って煮炊きしたりする体験は、日常生活の中ではなかなかできないことでしょう。仲間と協力してつくった野外炊飯の活動は、一生心に残るすばらしい思い出となるはずです。

１　ね ら い　　○野外での炊飯活動を通して、火のおこし方、調理方法などを身につける。
○仲間との協同作業を通して、野外生活への意欲を高めるとともに、互いに協力することの大切さに気づく。
○ゴミの始末や後片付けを行い、自然環境の保護や資源の有効利用について考える。

２　活動場所　　まつかさ野外炊飯場、くりの木野外炊飯場　等　　※雨天時はどろんこ広場や本館軒下

３　所要時間　　用具準備～調理～後片付けまで　３．５時間～４時間程度

４　対　　象　　希望される団体全て（ただし、利用にあたってはセミナーの受講が必須）

５　実際の活動

（１）用具の準備

炊飯用具は以下の場所に保管してあります。入所事務の際にお渡しする「野外炊飯カード」で点検・確認しながら各団体でご準備ください。

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○リヤカー（要事前申込）【食堂外軒下】 ○炊飯用薪（要事前申込）【事務室外】 ○なた（要事前申込）【事務室前の棚】 ○液体洗剤（要事前申込）【事務室前の棚】 ○マッチ【事務室前の棚】 ○野外炊飯コンテナ（炊飯用具一式）【炊飯倉庫】 ○食器類（平皿・お椀など）、スプーン【炊飯倉庫】 ○なべ（大と小あり）【炊飯倉庫】 ○鉄板、フライパン、フライ返し【炊飯倉庫】 ○テーブル、椅子【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】 ○炊飯用一斗缶【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】 ○スコップ、一輪車【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	●ごみ袋（透明または半透明の物） ※「置賜指定可燃ごみ袋」は使用できません。業務用として一般的に販売されている透明または半透明のごみ袋をご準備ください。 ●洗剤、金だわし、スポンジ、ふきん、古新聞など ※自然環境への影響を考慮し、合成洗剤やクレンザーを使用しないでください。天然成分でつくられた洗剤（当所で販売斡旋しています）をお使いください。

（２）食材の提供

①野外炊飯のメニュー（Ｐ６参照）を選び、利用日の３週間前まで申し込んでください。１回の食材提供で複数のメニューを希望する場合は、１メニュー２０人以上、３メニュー以内とさせていただきます。

②食材には生ものも含まれています。炎天下の運搬や調理中の管理には充分ご留意ください。

③決められた食材提供時刻に厨房の外にある搬入口（事務室前駐車場付近）からコンテナに入った食材を各団体で搬出してください。

食材提供時刻　　朝食６：１５　昼食９：３０　夕食１４：３０

※夏季の肉の提供時間は１５：００、もしくは調理直前となります。ご了承ください。

（３）野外炊飯

①リヤカーなどを利用し、必要な炊飯用具や食材を野外炊飯場まで運搬します。

②水場の準備をします。水場の使い方については次ページを参照してください。

③炊飯場所の準備をします（テーブル、いす、一斗缶等）。

④食材を各班の人数に合わせて分け、炊飯活動を始めます。

（４）後片付け

①ごみを決められた方法で処理をお願いします。詳細はＰ１４「ごみの処理方法について」参照してください。

②使った炊飯用具や食器類をすべてきれいに洗い、ふきんで水気を拭き取ります。なべの底についた煤もきれいに落とします。

③残った調味料や食材の入っていたコンテナ等を搬入口に返却します。

④使った薪は灰になるまで燃やしきります。完全に灰になってから「くりの木キャンプファイアー場」わきの灰捨て場に捨てます。

（５）用具の返却

返却時に汚れなどを確認しますので、必ず所員をお呼びください（内線１３）。汚れがひどい場合は、その後の活動を変更していただき、洗い直しや水気の拭き取りをしていただく場合もありますのでご承知おきください。

６　指導上の留意点

◆なたは、危険防止のため、原則として子どもには使用させないでください。

◆次に利用する団体に迷惑をかけてしまいますので、破損や紛失した場合は所員に必ずお申し出ください。

◆次の方が気持ちよく利用できるようルールを守り、正しい使い方でご利用ください。

□ 野外水場の使い方 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

１　給　水

①水槽の各排水口にふたをし、水をためる（所要時間約３０分）。

②各団体で準備したペットボトルやコンテナ内の丸バケツに水をくんで使うようにする。

２　洗い方

①食器についた汚れはできるだけ紙などで拭き取っておく。

②「洗い場」の水で洗い、「すすぎ場」の水ですすぐ。洗い場以外の水槽には鍋や食器などを入れないこと。

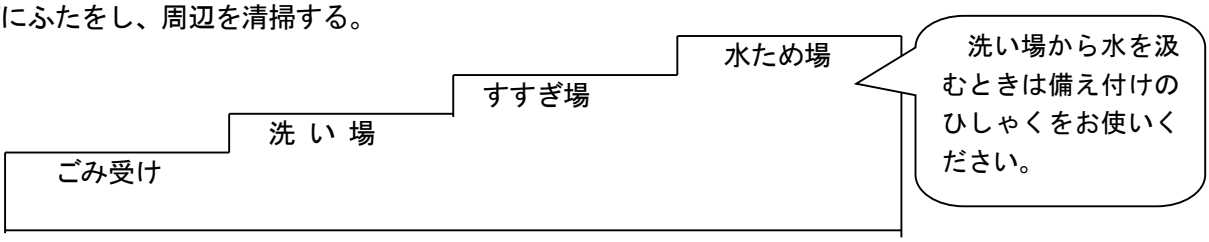
※人数が多い場合や他団体と共用する場合は、簡易水場などを活用してください。

３　排　水

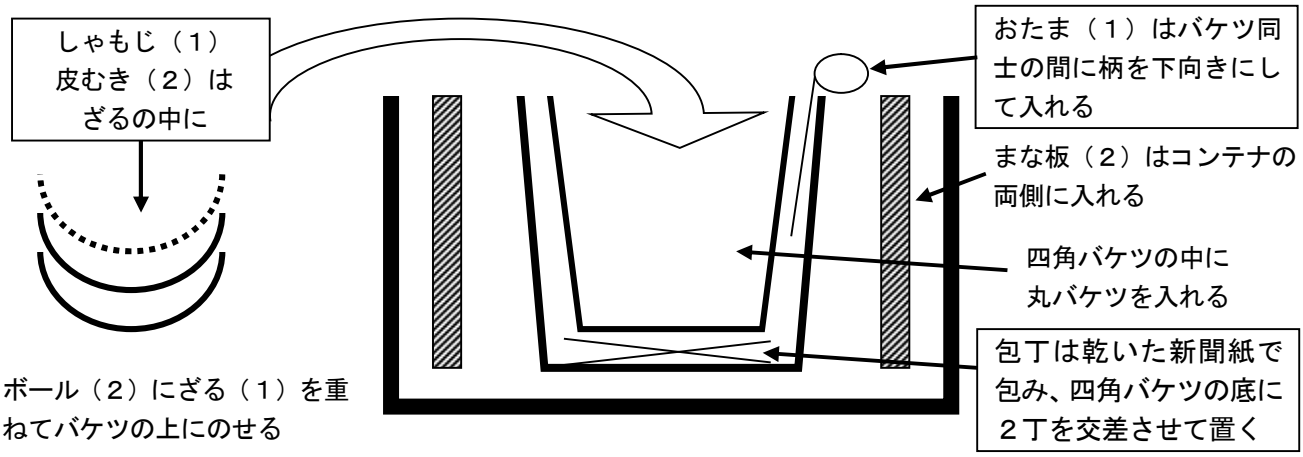
①「水ため場」の排水口から順にふたをはずし、水槽内をきれいに洗い流しながら排水する。

②最後に「ごみ受け」内のごみを新聞紙等に包んで水気をよくとってから捨てる。

③水槽にふたをし、周辺を清掃する。



□ コンテナ内の収納方法 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□



Ⅳ－４　ハイキング（自然散策）

最も手軽に取り組むことができる野外活動プログラムです。飯豊少年自然の家のハイキングコースは昔から地元の人々に利用されてきた山道ですので、安全に自然散策を楽しむことができます。展望台からは長井葉山・朝日連峰、遠くは蔵王連峰まで見わたすことができます。

１　ね ら い　　自然の家のハイキングコースを歩き、植物や昆虫などを観察したり、景色を眺めたりしながら自然に親しむ。

２　活動場所　　飯豊少年自然の家ハイキングコース

３　所要時間　　１時間～３時間程度　（活動時間に合わせて設定可）

例１；大外回りコース　ポイントA→B→C→D→E→F→G　（約７０分）

例２；展望台コース　ポイント１→M→ｋ→N→W　（約２０分）

４　対　　象　　幼児から一般まで

５　実際の活動

（１）コース設定

コースは各団体の活動時間に合わせて設定できます。あせらずゆったりと活動することができるように２～３時間は時間を確保したいところです。以下のような活動のポイントを確認してから取り組むことが大切です。

春～秋；展望台から見る飯豊町の田園風景・みはらし峠から見る風景・植物や昆虫の観察

秋～冬；動物の足跡探索、冬芽や葉痕の観察　※冬はかんじきやスノーシューを履いて楽しんでください。

（２）地図の読み取り方の説明

各団体の指導者から地図の読み取り方を説明してください。

（３）ハイキング開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

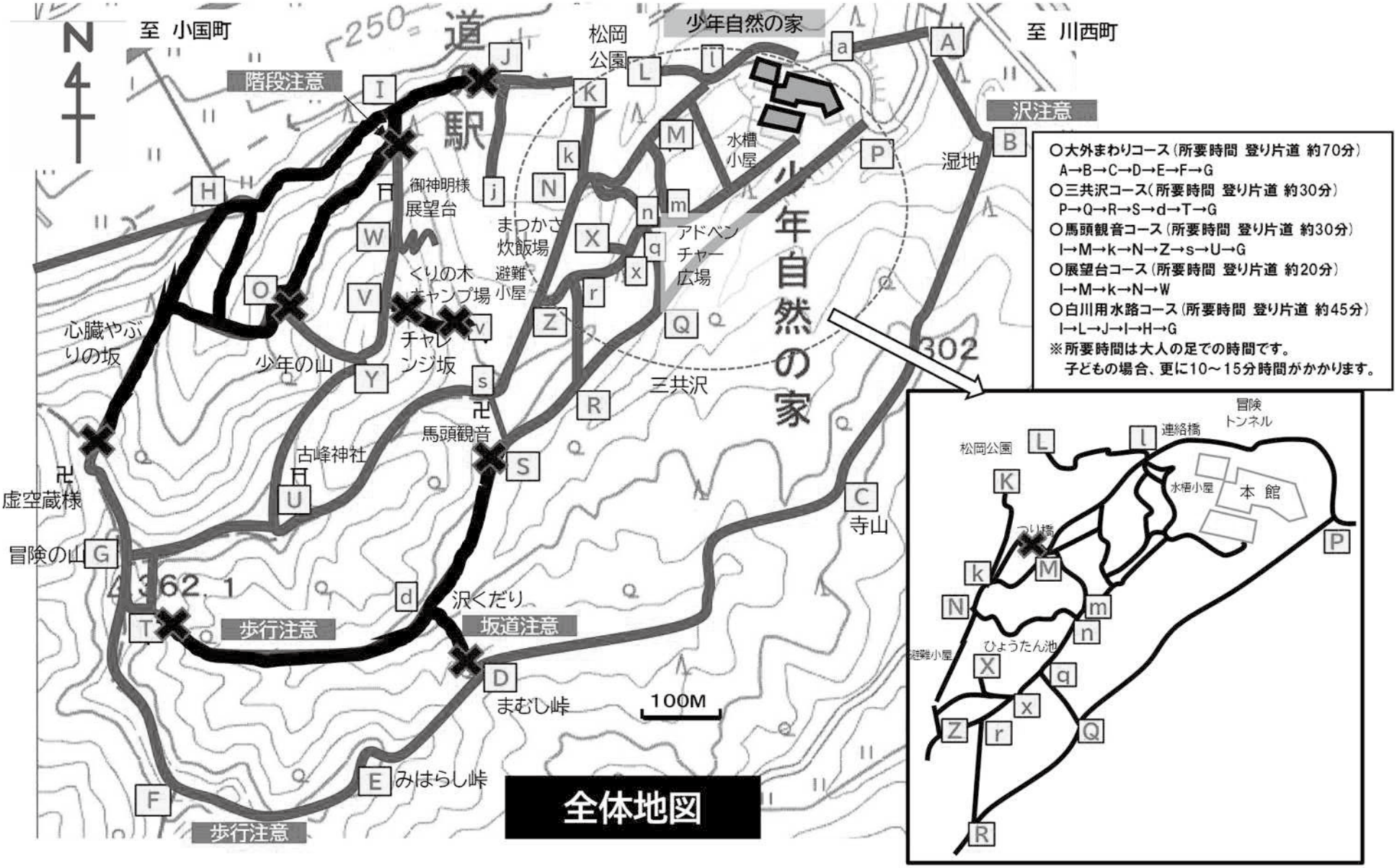
６　準 備 物

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○ハイキングコース地図　【事務室前の棚】	●救急薬品 ●水筒　等

７　指導上の留意点

◆携帯電話はほとんどの場所でつながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。

◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。


N
至 小国町
至 川西町
道
駅
少年自然の家
松岡公園
階段注意
沢注意
御神明様
展望台
まつかさ炊飯場
水槽小屋
アドベンチャー広場
くりの木キャンプ場
避難小屋
チャレンジ坂
心臓やぶりの坂
少年の山
三共沢
馬頭観音
古峰神社
虚空蔵様
冒険の山
沢くだり
歩行注意
坂道注意
まむし峠
みはらし峠
寺山
湿地
302
100M
全体地図
○大外まわりコース（所要時間 登り片道 約70分）
A→B→C→D→E→F→G
○三共沢コース（所要時間 登り片道 約30分）
P→Q→R→S→d→T→G
○馬頭観音コース（所要時間 登り片道 約30分）
I→M→k→N→Z→s→U→G
○展望台コース（所要時間 登り片道 約20分）
I→M→k→N→W
○白川用水路コース（所要時間 登り片道 約45分）
I→L→J→I→H→G
※所要時間は大人の足での時間です。
子どもの場合、更に10～15分時間がかかります。
冒険トンネル
連絡橋
松岡公園
水栖小屋
本館
つり橋
ひょうたん池
避難小屋

Ⅳ－５　追跡ハイキング

追跡ハイキングは、地図をもとにしてポイントを“追跡”し、ゲーム感覚で楽しむハイキングです。仲間と協力して問題文を解読したり、自然の中にかくれているポイントを探しあてたりする楽しさがあり、子どもたちの人気が高い活動プログラムの一つです。

１　ね ら い　　野山に配置されたポイントを探したり問題を解決したりしながら、ハイキングを行い、自然に親しむ。

２　活動場所　　飯豊少年自然の家ハイキングコース

３　所要時間　　２時間～３時間程度（活動時間に合わせて設定可）

４　対　　象　　小学校中学年以上

＜問題文の例＞

ついハイ
２１

10　25　7　25
21　31　4　50
６　９

解読すると……
「このきのなまえをかけ」
となります。

５　実際の活動

（１）コース設定

探すポイントを予め決めたり、定められた時間内にできるだけ多くのポイントを探したりする等、各団体の活動時間に合わせて設定できます。全ポイントを探すのであれば３時間程度は必要です。

（２）追跡ハイキングの説明

各団体の指導者から、地図の読み取り方や追跡ハイキングの方法を説明してください。

①地図をもとにしてポイントを探す。

②ポイントにある問題文を解読する（問題文は数字になっているので解読表で五十音に変換）。

③問題の答えまたは指示に従った結果を解答用紙に記入する。

（３）追跡ハイキング開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

（４）追跡ハイキング終了

解答用紙を回収して採点します。全体が終了したら結果を発表してください。

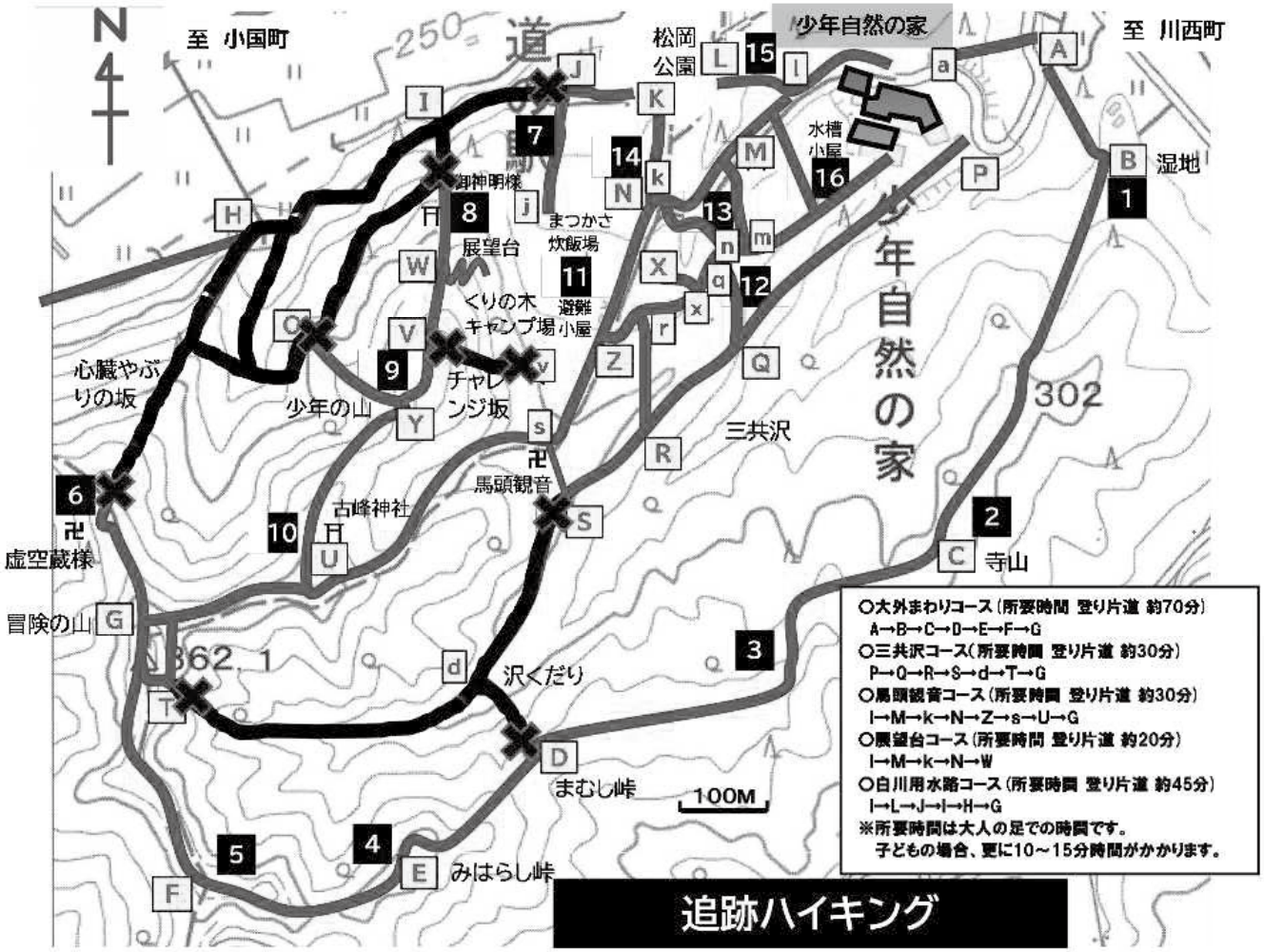
６　準 備 物

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所		利用者・団体が準備する物
○追跡ハイキングコース地図	【事務室前の棚】	●救急薬品
○指導者用解答	【事務室前の棚】	●水筒　等
○解答用紙（返却の必要なし）	【事務室前の棚】	

７　指導上の留意点

◆携帯電話はほとんどの場所でつながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。

◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。



追せきハイキング

問題文解読表

１＝あ	２＝い	３＝う	４＝え	５＝お
６＝か	７＝き	８＝く	９＝け	１０＝こ
１１＝さ	１２＝し	１３＝す	１４＝せ	１５＝そ
１６＝た	１７＝ち	１８＝つ	１９＝て	２０＝と
２１＝な	２２＝に	２３＝ぬ	２４＝ね	２５＝の
２６＝は	２７＝ひ	２８＝ふ	２９＝へ	３０＝ほ
３１＝ま	３２＝み	３３＝む	３４＝め	３５＝も
３６＝や		３８＝ゆ		４０＝よ
４１＝ら	４２＝り	４３＝る	４４＝れ	４５＝ろ
４６＝わ				５０＝を
５１＝ん	゛ だく点	゜ 半だく点	ー のばす	

問題文の数字をひらがなに読みかえて
問題を解いていこう！

追跡ハイキング　指導者用カード

ポイント	問　題　文	答　え
1	「自然の家」に縛（つば）くしりとりを三つ書け。	例　えき→きり→りす
2	この木の葉をスケッチせよ。	ナナカマドのスケッチ
3	自然の家の方角は？地図を見よ。	北（北東）
4	みんなで声を合わせヤッホーと叫べ。	指示に従えば○
5	ゴミが落ちていたら拾ってね。	指示に従えば○
6	この木に触（ふ）れた感触（かんしょく）を書け。	例　ザラザラなど
7	面白い形の自然（しぜん）の物を拾え。	指示に従えば○
8	自然を題（だい）にした詩を書け。	指示に従えば○
9	この植物（しょくぶつ）の名前は何か。	（エゾ）ユズリハ
10	この場所の地図記号（ちずきごう）を書け。	神社の記号ならば○
11	避難（ひなん）小屋にあるなぞなぞを解け。	チーズ
12	この木の名前は何か。	ホオノキ
13	まわりの自然の中にある色を三つ書け。	例　緑・茶など
14	この公園の名前は何か。	松岡公園
15	植物（しょくぶつ）の名前を三つ書け。	例　松・タンポポなど
16	みんなで大きな声で歌を歌え。	指示に従えば○

※班ごとに使用した地図（裏は問題文解読表）と一緒にこのカードもお返しください。

Ⅳ－６　ネイチャーウォークラリー

ネイチャーウォークラリーは、地図に示されたポイントを探しあて、実際にその場所に行かないと解答できない自然に関する問題や地形を利用した課題に挑戦するウォークラリーです。「知力」「体力」そして仲間との「協力」が重要となります。ゲーム感覚で楽しみながら自然を体感できることでしょう。

１　ね ら い　　野山に配置されたポイントを探したり問題を解決したりしながらウォークラリーを行い、自然に親しむ。

２　活動場所　　飯豊少年自然の家ハイキングコース

３　所要時間　　２時間～３時間程度（活動時間に合わせて設定可）

４　対　　象　　小学校中学年以上

５　実際の活動

（１）コース設定

探すポイントを予め決めたり、定められた時間内にできるだけ多くのポイントを探したりする等、各団体の活動時間に合わせて設定できます。全ポイントを探すのであれば３時間程度は必要です。

（２）ネイチャーウォークラリーの説明

各団体の指導者から、地図の読み取り方やネイチャーウォークラリーの方法を説明してください。

①地図をもとにしてポイントを探す。

②ポイント付近で問題の答えを探したり課題に挑戦したりする。

③問題の答えまたは課題に挑戦した結果を解答用紙に記入する。

（３）ネイチャーウォークラリー開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

（４）ネイチャーウォークラリー終了

解答用紙を回収して採点します。全体が終了したら結果を発表してください。

６　準 備 物

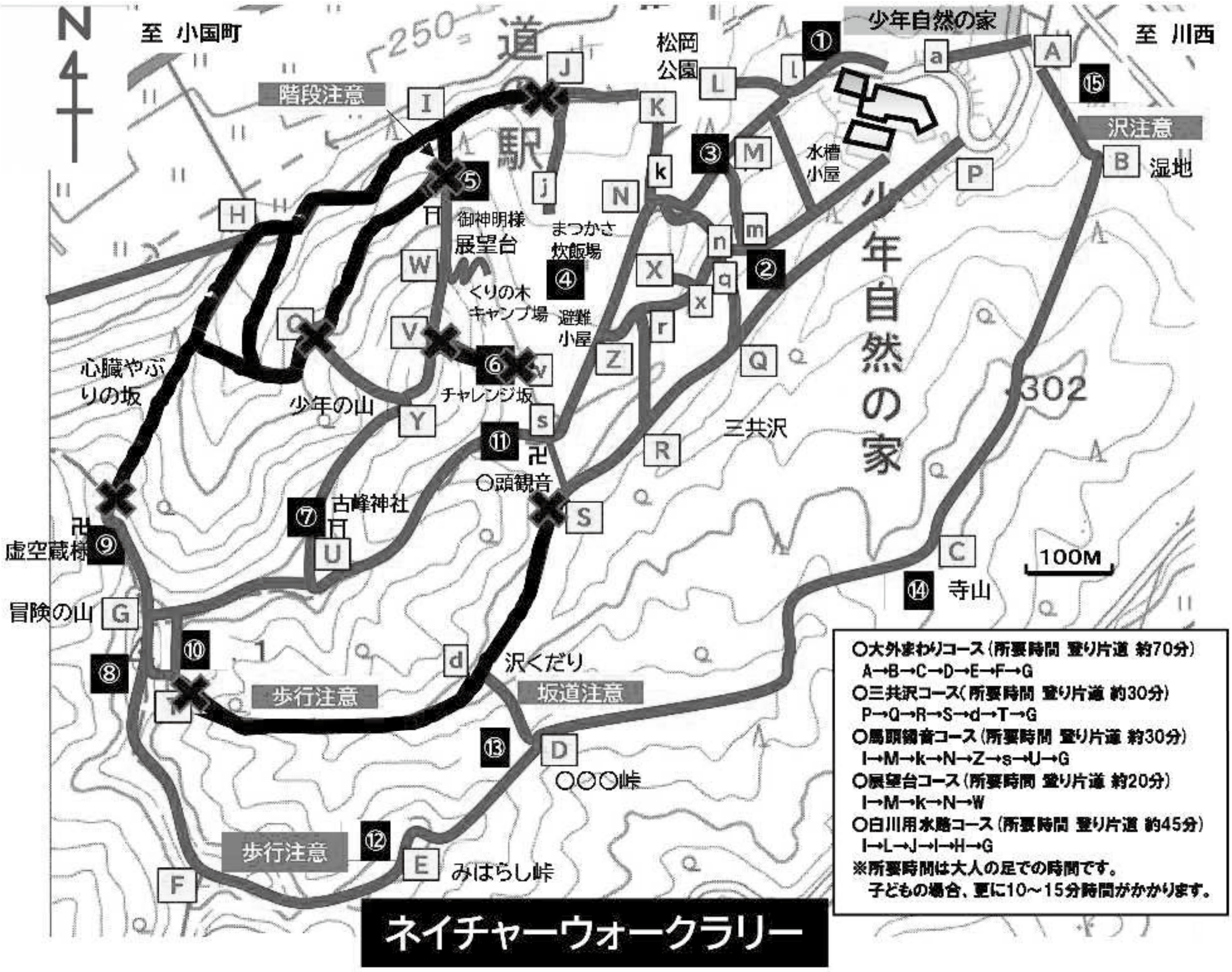
自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所		利用者・団体が準備する物
○ネイチャーウォークラリー地図	【事務室前の棚】	●救急薬品
○指導者用解答	【事務室前の棚】	●水筒　等
○解答用紙（返却の必要なし）	【事務室前の棚】	

７　指導上の留意点

◆携帯電話はほとんどの場所でつながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。

◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。

◆指導者による事前調査が必要な課題がありますので、ご承知おきください。



ネイチャーウォークラリー解答用紙　指導者用

ポイント	課題（かだい）	ちょっと一言	こたえ
①	この近くに「ヤマウルシ」の木があります。「ヤマウルシ」の葉の絵を描きましょう。	葉の形をよく観察して、描いてみよう	※ヤマウルシの葉の絵を描こう！ 全体でも、葉1枚でも観察して描いていれば○ 【10】
②	この「丸太」の上にグループ全員一列に手をつないで立ち、30秒数えたら合格！	挑戦は1回！途中で落ちたり全員手をつながないと不合格	合格・不合格 【5】
③	松岡公園の神社の石板には何と書いてあるでしょう。※この問題は目印のポールがありません。	お堂の前で、上を見上げてみよう。横書きで漢字三文字だよ。	松岡山 【5】
④	この「松」の樹齢は約何年でしょう。	枝と枝の間は約1年！	30~40年 ※範囲内であれば許容 【5】
⑤	ここの「エゴノキ」から展望台まで、いくつのヘアピンカーブがあるでしょう。	ヘアピンカーブとは、U字に折り返すように曲がる急カーブのこと	8つ 【5】
⑥	この松の木は葉が2本ではありません。何本あるでしょう。	地面に落ちている葉をよく観察してみよう！	5本 【5】
⑦	ここ「冒険の山」は、コース上で最も標高が高い場所です。約何mでしょう。	本館（玄関）前の標高は約265mです！	362m ※±20mまで許容 【10】
⑧	この木の横から見た太さ（直径）は、約何cmでしょう。	1mはどのくらいだった？	40~45cm ※範囲内であれば許容 【10】
⑨	ここ「T」から「U」までの間に、種類の違う落ち葉を5枚拾いましょう。	葉は木からは採らないで！	※ゴールで5枚見せましょう！ OK・残念 【5】
⑩	ここにある大きな杉の木。木の太さは何メートル何センチあるでしょう。	人が両手を広げた時の長さは、その人の身長とほぼ同じです。	約2m70cm 【10】
⑪	スタートから一番遠いポイントです！ ここ「みはらし峠」からの眺めを見て、感想を俳句（五七五）にしましょう。※すべて平仮名で、横書きに記入しましょう。	季語がなくても、自然を感じ、のびのびと表現されている一句であれば、点数をあげてください。	【10】
⑫	ここは、「〇〇〇峠」といいます。平仮名3文字の生き物です。何かな？	近くの看板にヒントがある！	※ひらがな3文字で！ まむし 【10】
⑬	この場所でしずかにして、聞こえる音を文字にして書きましょう。	何か、聞こえませんか？	虫・鳥などの鳴き声、風や葉の音など記入されていれば合格 解答例）カサカサ・チュンチュン 【5】
⑭	この沢に流れている水の温度は何度でしょう。手でさわって考えよう。	調べる時に沢に落ちないこと	事前に代表者の方がポイントの沢まで行って、温度計で計測してください ℃ ※±5℃まで許容 【5】

◆ゴール到着時刻　（　）時（　）分　◆所要時間　（　）時間（　）分

【　】内が配点で、合計100点です。スタート地点から遠いポイントは10点です。到着時間によってボーナス点を加算してもいいです。
合計得点　　点

ネイチャーウォークラリー 指導者マニュアル

ネイチャーウォークラリーは、地図に示されたポイントを探しあて、実際にその場所に行かないと解答できない自然に関する問題や地形を利用した課題に挑戦するウォークラリーです。「知力」「体力」そして仲間との「協力」が重要となります。ゲーム感覚で楽しみながら自然を体感できることでしょう。

課題について

課題は15問あり、解決には様々な力を必要とします。意欲を高めるために「点数」や「時間」を調べますが、主たるねらいは「五感で自然を感じる」ことです。

ポイント	評価観点	必要な力	ポイント	評価観点	必要な力
①	観察	観察して絵に表現する力	⑧	知識・技能	1mの感覚と計測の技能
②	協力	男女で協力する力	⑨	観察	観察力
③	読解力	漢字を読み取る力	⑩	量感	体を使って長さを考える技能
④	知識	松の樹齢の計測方法	⑪	感性・国語	俳句を作る力
⑤	協力	協力して計測する団結力	⑫	読解力	平仮名の読み取り
⑥	観察	観察力	⑬	感性	自然の音を聴き取る感性
⑦	知識	標高の意味を理解	⑭	知識	温度の意味

スタート前の準備について

（1）課題⑭は沢の水の温度を調べるものです。温度計をお渡ししますので、事前に計測してください。

（2）各団体の指導者から、資料を提示しながら、ウォークラリーの方法について説明してください。

<ネイチャーウォークラリーの方法>
①地図を基にしてポイントを探す。
②ポイント付近で問題の答えを探したり、課題に挑戦したりする。
③問題の答えや課題に挑戦した結果について解答用紙に記入する。

（3）以下について必ず確認してからスタートしてください。

□1mの長さ感覚(→1mロープの提示)　□「標高」の意味
□松の樹齢の調べ方について(→写真を提示)　□「俳句」の書き方

（4）安全面には充分留意し、コース上の危険箇所や指導者の配置場所を知らせ、不測の事態が起きたときの対応（大声を出す、指導者への連絡方法など）について周知徹底を図ってください。

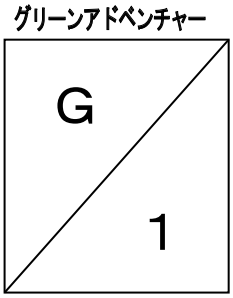
★緊急時の連絡先　山形県飯豊少年自然の家　TEL 0238－74－2331

Ⅳ－７　グリーンアドベンチャー

グリーンアドベンチャー（ＧＡ）とは、設定されたコースを歩きながら、標識の設置してある植物の名前をあてていく野外活動プログラムです。ゲーム感覚で楽しみながら植物の名前を覚えていくことができます。自然に親しむ良いきっかけとなることでしょう。

１　ね ら い　　仲間と協力して標識を探し、植物の特徴について調べることで、コースを楽しく歩きながら自然に親しむ。

＜ＧＡ用標識＞



２　活動場所　　飯豊少年自然の家ハイキングコース

３　所要時間　　１．５時間～２時間程度（活動時間に合わせて設定可）

４　対　　象　　小学生以上

５　実際の活動

（１）グリーンアドベンチャーの説明

各団体の指導者から、地図の読み取り方やグリーンアドベンチャーの方法を説明してください。

①地図をもとにしてＧＡ用標識を探す。

②標識を見つけたら、標識の設置してある植物の名前をシルエットカードで調べる。

③植物の名前をカードに記入する。

（２）グリーンアドベンチャー開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手等）のチェック
・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

（３）グリーンアドベンチャー終了

カードを回収して点検します。全体が終了したら結果を発表してください。

６　準 備 物

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所		利用者・団体が準備する物
○グリーンアドベンチャー地図	【事務室前の棚】	●救急薬品
○指導者用解答	【事務室前の棚】	●水筒　等
○観察カード（解答用紙）	【事務室前の棚】	

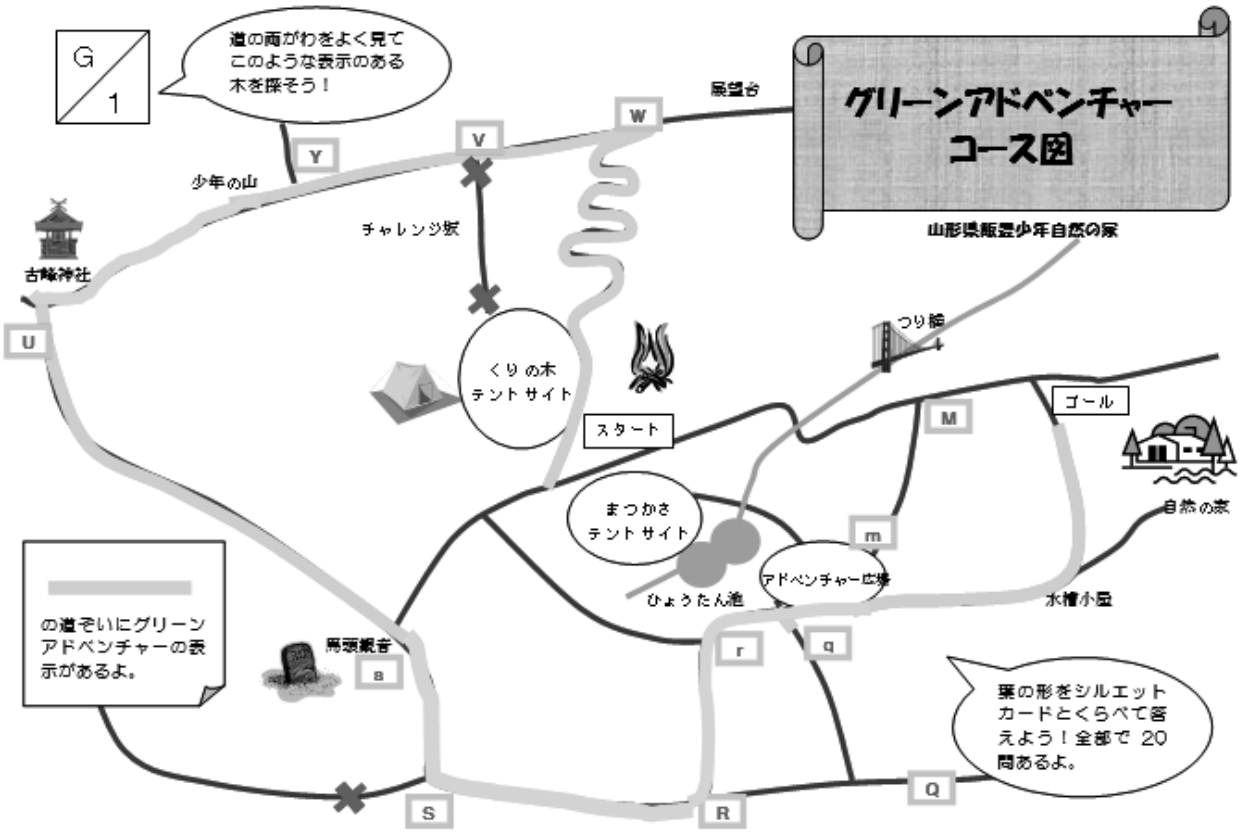
７　指導上の留意点

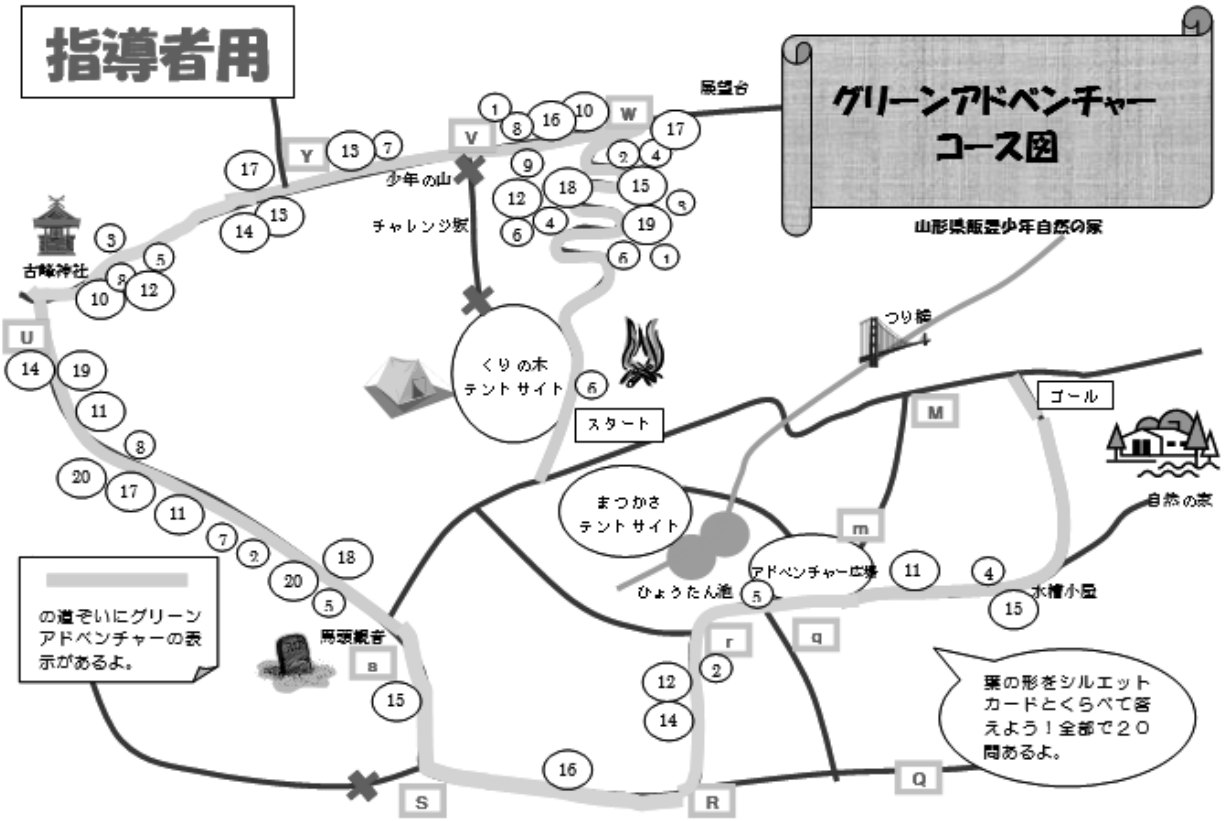
◆携帯電話はほとんどの場所でつながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。

◆できれば事前にコースの下見を行い、安全面や引率する児童・生徒の実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。

◆誤って進まないように、以下の地点に関門員を配置することをおすすめします。

展望台付近、古峰神社下の冒険の山に向かう分岐点、道標Ｐ、道標Ｓ、道標ｓ、道標Ｒ


G/1
道の両がわをよく見て
このような表示のある
木を探そう！
グリーンアドベンチャー
コース図
展望台
W
V
Y
少年の山
チャレンジ坂
古峰神社
U
山形県飯豊少年自然の家
つり船
くりの木
テントサイト
スタート
ゴール
M
まつかさ
テントサイト
m
アドベンチャー広場
ひょうたん池
水槽小屋
自然の家
の道ぞいにグリーン
アドベンチャーの表
示があるよ。
馬頭観音
B
r
q
葉の形をシルエット
カードとくらべて答
えよう！全部で 20
問あるよ。
Q
S
R


指導者用
グリーンアドベンチャー
コース図
展望台
W
V
Y
少年の山
チャレンジ坂
古峰神社
U
山形県飯豊少年自然の家
つり船
くりの木
テントサイト
スタート
ゴール
M
まつかさ
テントサイト
m
アドベンチャー広場
ひょうたん池
水槽小屋
自然の家
の道ぞいにグリーン
アドベンチャーの表
示があるよ。
馬頭観音
B
r
q
葉の形をシルエット
カードとくらべて答
えよう！全部で２０
問あるよ。
Q
S
R

Ⅳ－８　フィールドアスレチック

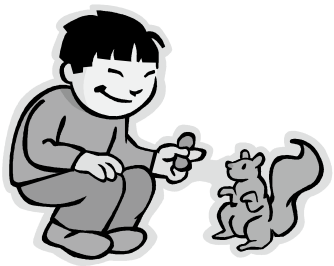
コース内に自然木や廃材・ロープなどを使って楽しいアスレチックを設置しています。幼児から大人まで誰でも手軽に楽しむことができます。自然の中で思いっきり体を動かしてください。ただし無理は禁物です。あくまでも自分の力に合わせて障害物を克服していきましょう。

１　ね ら い　　野山に設置されたアスレチックに挑戦し、自分の力に合わせて障害物を克服したり、体を動かしたりして楽しむ。

２　活動場所　　飯豊少年自然の家アスレチックコース

３　所要時間　　３０分程度（多人数の場合はこの限りではない）

４　対　　象　　幼児から一般まで



５　実際の活動

（１）順　序

①冒険トンネル→②連絡橋→③丸太わたり→④ネットわたり→⑤ロープわたり→⑥ネット越え

（２）フィールドアスレチックの開始

以下の点について必ず事前指導をお願いします。

・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
・前の人を押したりしないこと
・②と⑦は前の人が半ばまで進んでから次の人がスタートすること
・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

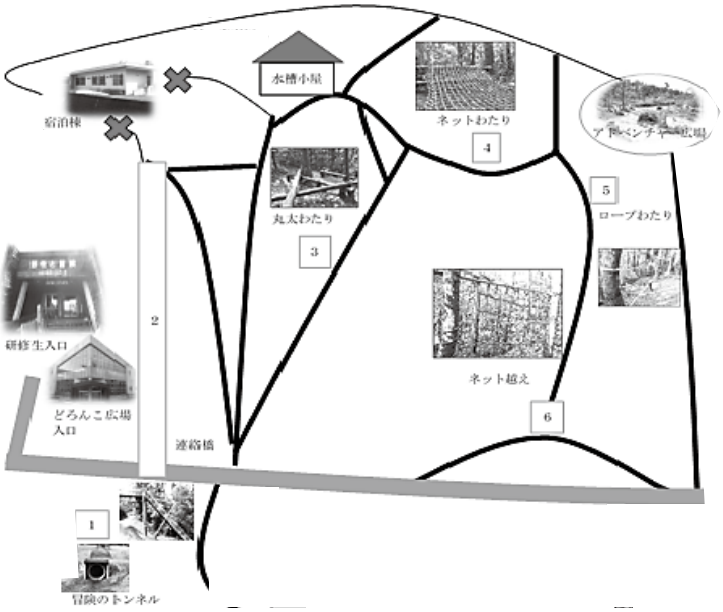
※安全確認のため、当日、所員による点検を行ってから利用が可能になります。
※天候によって利用ができない場合もあります。

６　準 備 物

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○フィールドアスレチック地図　【事務室前の棚】	●救急薬品

７　指導上の留意点

◆携帯電話はほとんどの場所でつながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。
◆必ず事前にコースの下見を行い、安全面や実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。
◆高所での活動や不安定な場所での活動も多いので、利用者が安全に活動できるように、指導者は常に補助または声がけのできる場所で引率してください。



Ⅳ－９　フライングディスクゴルフ

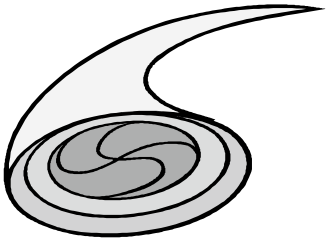
誰でも楽しむことができるフライングディスクを使った野外活動プログラムです。ゴルフと同様に、ホールにフライングディスクをできるだけ少ないスコアで入れてください。子どもから大人まで、またグループ同士でも手軽に楽しむことができます。

１　ね ら い　　フライングディスクをホールにめがけて投げ、できるだけ少ないスコアで入れることができるように競い合って楽しむ。

２　活動場所　　本館周辺

３　所要時間　　１時間程度（活動時間に合わせて設定可）

４　対　　象　　小学校低学年以上



５　実際の活動

（１）コース設定・ホールの設置

各団体で１～５ホールまでを地図を見ながら設置してください。

（２）ルール説明

スコアカードを配布し、各団体の指導者からルールや方法について説明してください。

（３）フライングディスクゴルフ開始

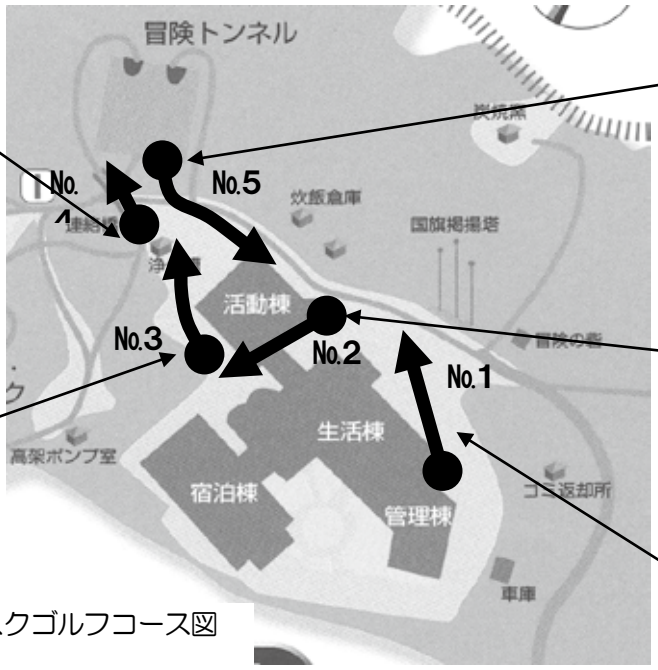
数名のグループを編成して取り組みます（最大１グループ６名まで）。Ａグループは１ホールから、Ｂグループは２ホールから等、ずらしてスタートするとよいです。

（４）フライングディスクゴルフ終了

カードを回収してスコアを集計します。全体が終了したら結果を発表してください。

６　準 備 物

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所		利用者・団体が準備する物
○フライングディスク	【事務室前の棚】	●救急薬品
○スコアカード・鉛筆（人数分）	【事務室前の棚】	
○ホール（５ホール分）	【どろんこ広場】	



フライングディスクゴルフコース図

Ⅳ－10　ナイトハイキング

月明かりを頼りに夜道を歩いたり、全く音のしない静かな森の中に身をおいたりする経験は、日常生活ではけっして味わうことができません。人間は誰でも真っ暗な世界が怖いものです。班の仲間と協力し合って自然の“怖さ”を克服することで、より一層団結力が高まることでしょう。

１　ね ら い　　仲間とともに暗闇で静寂な山道を歩くことで、日中は感じることのなかった自然の美しさや怖さを体感する。

２　活動場所　　飯豊少年自然の家ハイキングコース

３　所要時間　　１時間程度（活動時間に合わせて設定可）

４　対　　象　　小学校中学年以上

５　実際の活動

（１）コース設定

コースは各団体の活動時間に合わせて設定できます。コースタイムは以下を参照してください。

Ａコース；くりの木テントサイト～展望台～くりの木テントサイト（約３０分）
Ｂコース；くりの木テントサイト～古峰神社～展望台～くりの木テントサイト（約４０分）
Ｃコース；本館～道標Ｐ～道標Ｓ～くりの木テントサイト～本館（約３０分）

（２）ナイトハイキングについての説明

コースの説明だけでなく、インディアンウォーク（手を前方に出し、片方のつま先にもう一方のかかとをつけて歩く）などの慎重な歩き方を心がけることや、奇声を上げたり懐中電灯を振り回したりしないなどの約束をしっかりと守らせてください。

（３）ナイトハイキング開始

数名のグループを編成して取り組みます。以下の点について必ず事前指導をお願いします。

・服装（帽子、長袖シャツ、長ズボン、軍手、靴下<くるぶしが隠れるものが望ましい>等）のチェック
・ウルシ、スズメバチ、マムシなどの危険な生物について
・コース上の危険箇所や指導者配置場所について
・不測の事態が起きたときの対応について（大声を出す、指導者への連絡方法など）

（４）ナイトハイキング終了

ナイトハイキングをして感じたことや思ったことを全体やグループごと振り返ります。

６　準 備 物

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○電池ランタン	●救急薬品 ●懐中電灯など（必要な場合） ●電池ランタンを使用する場合１台につき単三乾電池３本

７　指導上の留意点

◆携帯電話はほとんどの場所でつながりますが、感度の悪い場所もありますのでご留意ください。
◆必ず事前にコースの下見を行い、安全面や実態に合ったコースであるかなどをご確認ください。
◆ナイトハイキングを行う場合は、以下の地点に必ず関門員を配置してください。

Ａコース；展望台付近
Ｂコース；古峰神社下の冒険の山に向かう分岐点、展望台付近
Ｃコース；道標Ｐ、道標Ｓ、道標ｓ　※誤って先に進まないように気をつけること。

Ⅳ－11　キャンプファイアー・キャンドルサービス

キャンプファイアーやキャンドルサービスは、集団宿泊やキャンプ生活の中で最も感動的なプログラムといえます。普段の生活ではあまり感じることのない火の暖かさ・美しさを実感させながら、参加者全員が心を通わせ分かち合う場（シェアリング）として思い出に残る活動にしたいものです。

１　ね ら い　○火を囲んで歌ったりゲームをしたりして楽しみ、仲間との親睦を図るとともに互いの絆を深める。
○暗闇と静寂の中で、火を見つめながら活動を振り返り、思い出を分かち合う。

２　活動場所　キャンプファイアー（野外）……　くりの木ファイアー場、まつかさファイアー場
※３団体以上の場合は松岡公園で行う場合もあります。
キャンドルサービス（屋内）……　チャレンジ広場、どろんこ広場　等

３　所要時間　１～１．５時間程度

４　対　　象　希望される団体全て

５　実際の活動

《　キャンプファイアー　》

①ボンファイアー（Ｂｏｎ　Ｆｉｒｅ）
大きな火を囲んで歌や踊り、ゲームなどのプログラムで大いに楽しもうとするもの。

②カウンシルファイアー（Ｃｏｕｎｃｉｌ　Ｆｉｒｅ）
厳粛な雰囲気の中でキャンプの心構えや決意を火に誓おうとするもの。

③グループファイアー
形式にこだわらず少人数でたき火を囲みながら語らいを中心として進めるもの。

《　キャンドルサービス　》

ローソクの炎を一人ひとりに点火し、自分の決意や思いを炎に込めて語り合うセレモニー。ボンファイアー的要素を取り入れ、ゲームなどのプログラムで楽しんでもよい。

６　準 備 物

自然の家から提供できる物　【　】は貸出・返却場所	利用者・団体が準備する物
○キャンプファイアー用薪（要事前申込）　【薪置き場】	●歌やダンスのＣＤなど（必要な場合）
○「営火長」「火の巫女」の衣装と冠　【事務室前の棚】	●ＣＤラジカセを使用する場合、単二乾電池６本
○トーチ棒セット（要事前申込）　【事務室前の棚】	●ワイヤレスアンプを使用する場合、単二乾電池８本
○マッチ、なた、新聞紙など　【事務室前の棚】	
○ＣＤラジカセ、ワイヤレスアンプ　【事務室前の棚】	
○一輪車、スコップ　【まつかさ炊飯場小屋、避難小屋】	

７　指導上の留意点

◆近年、環境問題に配慮し、ボンファイアーを自粛する団体が増えてきました。キャンプファイアーの意義や活動プログラム上の位置づけを確認し、どのようなタイプのキャンプファイアーが適切かをよくお考えのうえ取り組んでください。

◆火の取り扱いには充分気をつけ、担当者が責任をもって火の管理をしてください。なお、キャンプファイアーの場合は、燃え残りが出ないように、炎がおき火になるまで担当者が火のそばに付いて管理してください。

◆灰については、翌日の朝、完全に灰になった状態を確認後、くりの木ファイアー場わきの「灰捨て場」に利用団体で片付けてください。

◆「炎が大きすぎた」「飛び火した」等の非常時に備えて、水道・ホースの位置を明るいうちに確認しておいてください。

◆マイク・拡声器等を使用する際の大音量や奇声を上げるなど、他の団体に迷惑にならないようにご留意ください。

キャンプファイアー展開例　※ボンファイアーを中心とした三部構成の例

展　　開	担　　当	内　　容　　な　　ど
第1部　迎火のつどい		
①入　場		○全員ファイアー場に静かに入場する。火床を囲んで円形に集合する。
②はじめのことば	エールマスター	「今日一日、私たちの活動を明るく照らしてくれた太陽も、西のかなたへと沈んでいきました。さあ、営火を迎える歌をみんなで歌いましょう。」
③歌１	エールマスター	○『遠き山に日は落ちて』を歌う。２番からハミング。
④営火入場	火の巫女 営火長（火の神）	○ハミングに合わせて入場し、場内を一周する。 ○営火長より火や人間の生活にまつわる話をする。 例「今、火の巫女によって運ばれてきたこの小さな火は、この集いの輪に明るさを与えてくれました。火は遠い昔から私たちに生きることの喜びや勇気を与えてくれたものです。火を見つめていると体が温まるだけでなく、心をわきたたせる不思議な力もみなぎってきます。さあ、この火がみんなにたくましく生きる力とあたたかい心を与えてくれるように、みんなの願いをこめましょう。」 ○ゆっくり前に進み、トーチから点火する。
⑤点　火	火の巫女	○『燃えろよ燃えろ』を歌う。
⑥歌２	エールマスター	
第2部　親睦のつどい		
①ゲーム ②フォークダンス	エールマスター	○ゲームやフォークダンスなどを入れて、全体を盛り上げていく。ただしあまり大声を上げたり騒いだりしない程度に。
第3部　送火のつどい		
①黙　想	エールマスター	○各自黙想し、１分たったと思ったら立ち上がる。
②採　火	火の巫女 営火長（火の神）	○ゆっくり前に進み、トーチに採火する。 ○営火長よりまとめの話をする。 例「大きく燃え上がっていた炎も、小さな炎となりました。この炎を見つめながら、もう一度今日一日を振り返ってみましょう。人は誰でも一人きりでは生きていけません。互いに助け合い、励ましあってこそ人間なのです。今日のすばらしい思い出を胸に刻んだみなさんは、きっと明日から、たくましく力いっぱいに、そしてあたたかい心をしっかりと持って、豊かな学校生活（社会生活）を送っていくことができるでしょう。」
④分　火	火の巫女 代表者	○班長などのグループの代表者が前に進み、火の巫女から分火してもらう。
⑤誓いのことば	エールマスター	○グループごと『誓いのことば』を述べ、代表者から全員に分火していく。
⑥退場・歌３	エールマスター	○『今日の日はさようなら』を歌う。２番からハミングしながら静かに退場する。

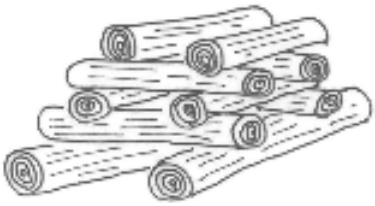
＜役割分担＞

- エールマスター　司会進行役（１～３名）
- 営火長（火の神）　各団体の代表者（１名）
- 火の巫女　火の点火役（2～３名）
- ファイアーキーパー　火の管理（大人数名）

キャンプファイアーのポイント！

各部ごとに雰囲気を変えて展開することが大切です。第一部と第三部は厳かで静かな雰囲気、第二部は楽しく和やかな雰囲気で行うようにしましょう。そして参加者全員の協力が必要不可欠です。

資料１　キャンプファイアー（大）の組み方　～井げた式～



①火床に新聞紙を軽く丸めてしき、井げたに組んでいく。

②井げたの四隅に細木４本を立てかけ、バタ板を入れていく。

キャンプファイアーを行うにあたっての厳守事項

◆　薪の量が団体の規模や活動時間に合っているのかを充分に検討する。

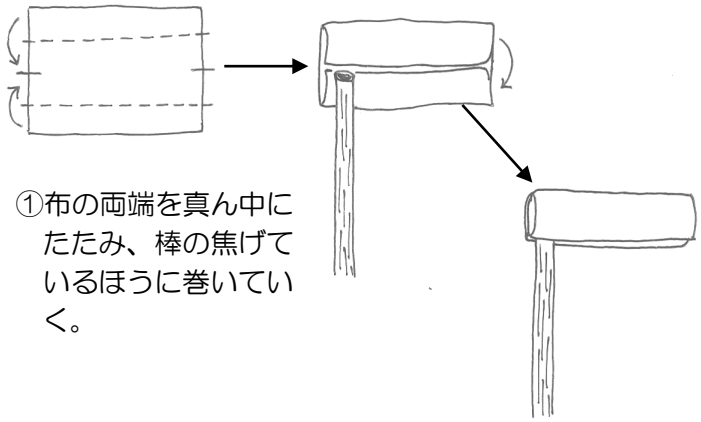
※薪の量は以下の３タイプから選択してください。

①炊飯用薪と同じもの（１束３３０円）　→約１時間燃焼
②バタ板を半分にしたもの（１セット１，５００円）　→約２時間燃焼
③丸太１０本＋バタ板２束（１セット４，０００円）　→約４時間燃焼

◆　点火してから灯油をかけたり、火の中に灯油のついた物を投げ込んだりしない。

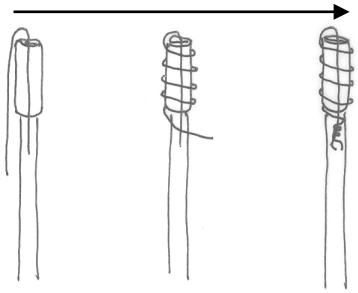
◆　燃え残りを出さないように、おき火になるまで火の管理を徹底する。

資料２　トーチ棒の作り方



①布の両端を真ん中にたたみ、棒の焦げているほうに巻いていく。

②針金を先のほうに引っ掛け、下に向かって巻いていく。



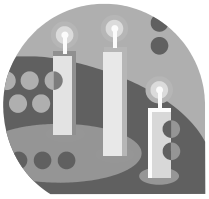
※トーチ棒の燃焼時間は、７分間が目安となります。巻き方や灯油の量、気温等で差異が出ますことをご了承ください。

キャンドルサービス展開例　※静かな雰囲気で団体の親睦を深めるための展開例

展　　開	担　　当	内　　容　　な　　ど
①入　場		○『遠き山に日は落ちて』を静かに歌いながらキャンドルマスターを先頭に一列になって入場する。円形に集合し、ハミングしながら待機する。
②キャンドル入場	キャンドルキャリアー	○円形に集合している参加者の内側をゆっくりと一周する。キャンドルマスターの前に来たらローソクを渡す。
②はじめのことば	エールマスター	「今日一日、私たちの活動を明るく照らしてくれた太陽も、西のかなたへと沈んでいきました。今日一日を振り返りながら、私たちがより一層親睦を深めることができるようにキャンドルサービスを始めます。」
③点　火	キャンドルマスター	キャンドルマスターは両隣に点火し、次々に火を移していくようにする。点火されている間に火の話をする。 例「私たちには全ての心に灯し火があります。私の目の前に輝く小さな炎は、暗闇で光を放ちながら、自らの進む道を照らし、私たちに目的を持ちなさいといっています。火は暖かく燃えながら、周囲の人々に対し明るく温かい人間になりなさいといっています。そしてこの火はわが身を焼き尽しながら互いに協力し助け合って生きることの大切さを教えてくれます。みんなの心の灯し火にも、みんなの手にしたローソクの炎は何かを語りかけているのです。」
④ふりかえり	エールマスター	○一日の出来事をゆっくりとプログラムに従って話していき、参加者同士の関わりを思い出させていく。 「これからみなさんにも今日を振り返って、感じたことや思ったことを一言ずつ話してもらいます。話した人から自分の火を消していきましょう。」
⑤誓いのことば	キャンドルマスター	○最後にキャンドルマスターの火だけが残ったら、まとめの話をする。 例「ここに集まったみなさんによって、すばらしい集いとなりました。そしてこの思い出は、ローソクの炎のようにいつまでも輝きながら心に残ることでしょう。火はこの一つだけになりましたが、心の灯し火で結び合った私たちの友情の輪は、さっきの火の輪よりも、心の中でもっと輝き続けていることでしょう。」
⑥退　場	エールマスター	○『今日の日はさようなら』を歌う。２番からハミングし、キャンドルマスターを先頭にして静かに退場する。

＜役割分担＞

- エールマスター　司会進行役（１～３名）
- キャンドルマスター　各団体の代表者（１名）
- キャンドルキャリアー　火の点火役（2～３名）
- ファイアーキーパー　火の管理（大人数名）



キャンドルサービスのポイント！

キャンドルサービスは、静かに一日を振り返ったり、仲間との心の触れ合いを深めたりすることに効果があります。そこで、静かな落ち着いた雰囲気の中で進めていくことが大切となります。また、キャンプファイアーの雨天時案として行う場合は、大きな燭台を使用して三部構成で展開することもあります。キャンドルサービスの意義をどう捉えるかによって大きく展開も変わってきます。

MEMO

Ｖ　資　料

資料－１　　様式第１号－③
山形県飯豊少年自然の家利用許可申請書記入見本

資料－２　　利用申込基本シート記入見本

資料－３　　利用申請①　活動プログラム記入見本

資料－４　　利用申請②　給食申込書記入見本

資料－５　　利用申請③　バス利用申込書記入見本

資料－６　　利用申請④　宿泊者名簿

資料－７　　利用申請⑤　引率・指導者名簿

資料－８　　館内平面図

資料－９　　本館～テントサイト周辺図

資料－10　　利用団体の代表者の皆様へ（お願い）

飯豊少年自然の家の利用をする場合は、**様式第１号－③「山形県飯豊少年自然の家利用許可申請書」**と**利用申請①「活動プログラム」**に必要事項をご記入のうえ、利用日の３週間前までにご提出ください。また、利用内容によっては以下の申請文書の提出も必要となります。

○館内食や野外炊飯等の給食を利用する場合　　**利用申請②「給食申込書」**

○自然の家のバスを利用する場合　　**利用申請③「バス利用申込書」**

○館内に宿泊する場合　　**利用申請④「宿泊者名簿（自作も可）」**
※引率・指導者がどの部屋を利用するかわかるようにしておくこと。

○宿泊利用で、中学生以下に対する引率・指導者がいる場合　**利用申請⑤「引率・指導者名簿」**

※飯豊少年自然の家のホームページ（http://www.iideshonenshizennoie.jp）から、データで利用申請①～⑤を入手することも可能です（ＰＤＦおよびＥｘｃｅｌ形式）。

（様式 第1号-③） **令和5年度 山形県飯豊少年自然の家 利用許可申請書**

令和 5 年 1 月 11 日

山形県飯豊少年自然の家
指定管理者 株式会社飯豊町地域振興公社 殿

申請者
住所（所在地） ○○市△△町１２３の４
団 体 名 ○○市立△△小学校
代表者職氏名 校長 山形 一郎

引率代表者の氏名をご記入ください。右「代表者」とは違っていても構いません。

利用団体の長の方の氏名をご記入ください。特に学校の場合は校長名をご記入ください。

次[illegible]を添えて申請します。

利用学校・団体名称	○○市立△△小学校□年生
利用目的（研修内容）	宿泊体験や自然体験などの活動を通して、自然に親しみ、交流を深めるため。

引率代表者氏名及び日中連絡のつく連絡先	役職名	教 諭	氏名 飯豊 太郎
	住所	〒 999 － 0605	○○市△△町123の4
	電話	0238 － 74 － 2331	FAX [illegible]
	（携帯）	090 － 0000 － 1111	メール

早急に連絡を取りたい場合もありますので、差し支えなければ携帯番号もご記入ください。FAX、メールアドレスは必ずご記入ください。

利用期間				
第1希望	R5 年 6 月 1 日（木）～	R5 年 6 月 2 日（金）	到着時刻	午前・午後 9 ： 30
第2希望	R5 年 6 月 8 日（木）	[illegible]（金）	退所時刻	午前・午後 2 ： 30
第3希望	R5 年 6 月 14 日（水）	[illegible]（木）	所バス利用	有 無

所バス利用のご希望について、必ずご記入ください。特に希望されることがあれば詳細についてもご記入ください。

※同日程に複数の団体が申し込まれた場合、調整が必要な場合がございますので必ず第3希望までご記入ください。

特に希望する事項（活動内容、所バス利用の詳細 等）	今泉駅までの送迎希望 。定員を上回る分は市バスで対応します。

利用者区分		児童・生徒等 幼児以下	小学生	中学生	高校生	指導者引率者	大学生	青年・成人・一般 青年団体	企業関係	その他	計	社会教育関係団体
人員	男		29			2					31	1 該当
	女		28			2					30	2 非該当
	計		57			4					61	

社会教育関係者に該当するかどうか不明な場合は未記入で結構です。

主 な 活 動 内 容 （利用日の各食事は該当項目を○で囲む、宿泊日ごとに宿泊区分を○で囲む）

利用月日活動内容		朝食	午前	昼食	午後	夕食	夜	宿泊区分（該当にレ点）		備考
第1日目	6/1（木）	持参	イニシアティブゲーム 追跡ハイキング	持参	野外炊飯	館内	キャンプファイヤー	レ	館内泊	
		館内		館内		野外			テント泊	
		野外		野外		弁当			ビバーク泊	
				弁当		不要			その他	
第2日目	6/2（金）	館内	クラフト活動（キューブカレンダー）	館内	うどん打ち	館内			館内泊	
		野外		野外		野外			テント泊	
		弁当		弁当		弁当			ビバーク泊	
				不要		不要			その他	
第3日目	/（ ）	館内		館内		館内			館内泊	
		野外		野外		野外			テント泊	
		弁当		弁当		弁当			ビバーク泊	
				不要		不要			その他	

誓約事項	☑ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利する使用でないことを誓約します。

（注） 1 年間、複数回利用する場合は、1回ごとに利用許可申請書を提出してください。連続する日を日帰りで利用する場合は本申請書1枚の提出で結構です。利用日を変更する際は、再提出してください。

2 誓約事項について誓約する場合は、□に[illegible]

3 誓約事項について確認するため、山形県[illegible]書に記載されている情報を提供して、その意見を聴くこと[illegible]申請者の生年月日等の個人情報を確認することがあります。

ご提出の必要がある場合はチェックを入れ、それぞれ提出期限までにご提出ください。
また、活用セミナー参加についても○をつけてご提

併せて提出する書類	☑ 活動プログラム（3週間前まで提出）	☑ 給食申込書（3週間前まで提出）	☑ 引率・指導者名簿（3週間前まで提出）	☑ その他の参考資料
☑ バス利用申込書（3週間前まで提出）	☑ 宿泊者名簿（入所受付時まで提出）	活用セミナー開催日 ※後日、別途お申し込みください。	①4/19 ②5/10 ③6/4 ④8/22	

＜記入見本＞

山形県飯豊少年自然の家　利用申込（基本シート）

利用される団体の重要なデータとなりますので必ず記入の上、ご提出ください。

利用団体名	○○市立△△小学校□年

代表者氏名	飯豊　太朗

連絡先	〒	―		
	住所			
	電話	―　　―	携帯	
	FAX	―　　―	メール	

活動のねらい	

		幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	引率者 指導者	一般	合計	班数
利用人数・班	男							30	30	10
	女							31	31	

利用日および利用形態	6　月　　1　日　　木　曜日　より	
	1泊2日　利用	※宿泊の場合のみ→　館内泊

		交通手段	台　数
交通手段	入所	貸切バス（所バスも利用）	2
	退所	貸切バス（所バスも利用）	2

受付・支払いをスムーズに行うため必ずご記入ください。

経費	経費の支払方法	明細内訳
	利用当日現金払い	名分、　名分、　名分　の　　枚

【指定管理者／株式会社飯豊町地域振興公社】

利用申請①

山形県飯豊少年自然の家　活動プログラム

利用日	6月　1日　木　曜日(第1日目)
利用形態	1泊2日　テント泊

利用団体名　○○市立△△小学校□年
代表者氏名　飯豐　太朗
利用者数　61 人　班数 10

時間帯	活動開始時刻	通常予定 活動内容(上)・場所(下)	通常予定 活動用具	数量	荒天時案 活動内容(上)・場所(下)	荒天時案 活動用具	数量	備考
6:00								
7:00								
8:00								所バス1台、貸切バス2台で来所
9:00	9:20	事務室打合せ						
	9:30	であいのつどい						
		いいでの広場						
10:00	10:00	弁当受取			左に同じ			
	10:30	追跡ハイキング	追跡ハイキングセット	10	館内ハイキング	館内ハイキングセット	10	
11:00								
12:00								
13:00								
14:00	14:00	野外炊飯	炊飯用具セット	10	左に同じ			荒天時(調理・食事:どろんこ広場、煮炊き:どろんこ広場軒下)
		くりの木炊飯場	鉄	20	どろんこ広場			
			炊飯用薪	10				
			燃焼石鹸	5				
			ガた	3				
			リヤカー	5				
			ゴム	61				
			机	11				
			一斗缶	20				
15:00								
16:00								
17:00	17:00	代表者打ち合わせ						
	17:30	食器点検						
18:00								
19:00	19:00	キャンプファイアー	キャンプファイアー用薪(大)	1	キャンドルサービス	ローソク	61	
			机席	6		メイン燭台	1	
			火の神衣装	1		個人用燭台	61	
		くりの木ファイアー場	火の巫女衣装	2	どろんこ広場	火の神衣装	1	
						火の巫女衣装	2	
20:00								
	20:30	入浴						
21:00	21:10	その他(備考欄)						ふりかえり
		食堂						
	21:30	就寝						
22:00								
23:00								

来所されたら、主担当の方は事務室にお越しください。当日の打合せを行います。

野外での活動を予定している場合は、荒天時案も必ずご検討ください。当日になって急に申し出られても対応できない場合があります。ご了承ください。

活動場所については、他団体の申込状況を考慮し、自然の家担当者が調整のうえ、事前にお知らせします。申込段階ではご希望の場所を記入してください。

必要と思われる活動用具をすべて記入してください。どんな用具が必要になるのか不明な場合は研修担当までお問い合わせください。

「代表者打ち合わせ」の時間を必ず設定してください。場所は入所受付の際お知らせします。ただし、他団体の利用がなければ、必要はありません。

館内泊の場合は、男女比をお考えのうえ、各部屋の宿泊予定人数を記入してください。他団体の申込状況によっては希望する部屋にならない場合もありますのでご了承ください。リーダー室1～3と1Fたけとり以外の定員は、洋室が16名、和室が14名です。

1F宿泊部屋名		宿泊人数	1F宿泊部屋名		宿泊人数
和洋室	たけとり		洋室	こぶとり	7
洋室	あかおに	8	洋室	さるかに	6
洋室	てんぐ	8	和室	リーダー室1	1
2F宿泊部屋名		宿泊人数	2F宿泊部屋名		宿泊人数
洋室	まつかさ	7	和室	吾　妻	
洋室	かやのみ	7	和室	眺　山	
洋室	いがぐり	8	和室	葉　山	
洋室	どんぐり	8	和室	朝　日	
和室	リーダー室2		和室	リーダー室3	1

【指定管理者／株式会社飯豊町地域振興公社】

然の家　給食申込書（記入例）

利用団体名　○○市立△△小学校□年

食事内容のいずれかに○をつけてください。弁当を注文する場合は申込人数も忘れずに記入してください。

第（一）日目　6月1日 木 曜日

	食事内容 ※いずれかに○	申込人数
昼食	（　）館内食	（　）名
	（○）弁当	（61）名
	（　）野外炊飯 ※うどん打ち等を含む	（　）名
	（　）持参弁当	
夕食	食事内容 ※いずれかに○	申込人数
	（　）館内食	（　）名
	（　）弁当	（　）名
	（○）野外炊飯 ※うどん打ち等を含む	（61）名
	（　）持参弁当	

館内食名

弁当メニュー名	提供時刻
いいで弁当	10:00

弁当を注文する場合は提供を希望する時間も必ず記入してください。
提供できる時間は９：００～１３：００の間です。

	野外炊飯メニュー名	班の人数（班編成の合わせて○名×△班と詳しく）
①		名×　班、　名×　班、　名×　班
②		名×　班

野外炊飯をする場合は、メニュー名と班の人数を記入してください。
１班４～７名までお願いします。
複数のメニューを希望される場合、１メニュー50名以上でお申し込みください。※夏季の肉の提供時間は15：00以降、もしくは調理直前となります。

	野外炊飯メニュー名	班の人数（班編成の合わせて○名×△班と詳しく）
①	ポークカレー	6名×3班、5名×1班、4名×1班
②	ジュージュー焼き	6名×4班、5名×2班、　名×　班

第（二）日目　6月2日 金 曜日

	食事内容 ※いずれかに○	申込人数
朝食	（○）館内食	（61）名
	（　）弁当	（　）名
	（　）野外炊飯 ※うどん打ち等を含む	（　）名
昼食	食事内容 ※いずれかに○	申込人数
	（　）館内食	（　）名
	（　）弁当	（　）名
	（○）野外炊飯 ※うどん打ち等を含む	（61）名
夕食	食事内容 ※いずれかに○	申込人数
	（　）館内食	（　）名
	（　）弁当	（　）名
	（　）野外炊飯 ※うどん打ち等を含む	（　）名

館内食名
部活めし

館内食で「飯少めし」、「部活めし」を注文する場合は、どちらかを選択してください。

弁当メニュー名	提供時刻

	野外炊飯メニュー名	班の人数（班編成の合わせて○名×△班と詳しく）
①		名×　班、　名×　班、　名×　班
②		名×　班、　名×　班、　名×　班

館内食名

弁当メニュー名	提供時刻

	野外炊飯メニュー名	班の人数（班編成の合わせて○名×△班と詳しく）
①	うどん打ち（天ぷら付き）	6名×7班、5名×3班、4名×1班
②		名×　班、　名×　班、　名×　班

うどん打ち、ピザづくりをする場合は、食材準備の都合上、班編成を必ずご記入ください。
また、ピザはソーセージかシーフードのどちらかを選んでご記入ください。（包み焼きピザの場合は、選ぶことができません。）
うどん打ちは天ぷら付きと天ぷらなしから選んでご記入ください。

		班の人数（班編成の合わせて○名×△班と詳しく）
①		名×　班、　名×　班、　名×　班
②		名×　班、　名×　班、　名×　班

※請求書や領収書の内訳を必ずご記入ください。

領収書	57　名分、　4　名分、　名分として　2　枚　作成

何名分の領収書を何枚必要なのか、内訳を必ず記入してください。

食物アレルギー：(有)・無

有の場合、具体的な内容をご記入ください（食物アレルギーや夜食等の希望等）

（例）1名卵アレルギー、1名小麦アレルギー、合計2名代替え食希望

夜食としておにぎりやパン等を提供することができます。また飲み物等も仕入れ価格で提供することができます。詳しい内容や品名については事前にご相談ください。

【指定管理者／株式会社飯豊町地域振興公社】

利用申請③

山形県飯豊少年自然の家　バス利用申込書（記入例）

利用団体名　○○市立△△小学校□年

１．利用日時・場所等

回	利　用　日	利用開始時刻	出　発　地	目　的　地
1	6　月　1　日　木　曜日	9:00　に	△△小学校　から	自然の家　まで
2	6　月　2　日　金　曜日	14:00　に	自然の家　から	△△小学校　まで
3	月　　日　　曜日	に	から	まで
4	月　　日　　曜日	に		まで

利用開始時刻とは乗車時刻のことです。出発地から自然の家までの時間を考慮して設定してください。

２．利用目的

宿泊体験学習で飯豊少年自然の家を利用するため。

３．その他（経由地等の希望がありましたらお書きください。）

乗車場所が○地点と△地点の２ヶ所ある場合は必ず記入してください。また広域学習で見学地への送迎が必要な場合は、必ず入所してから見学地へ出かけるようにしてください。乗車場所から直接見学地へ送迎することはできませんので、ご承知おきください。

【指定管理者／株式会社飯豊町地域振興公社】

利用申請④

山形県飯豊少年自然の家　宿泊者名簿

利用団体名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１　階

室名／人数	たけとり	あかおに	てんぐ	こぶとり	さるかに	リーダー室1
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						

２　階

室名／人数	まつかさ	かやのみ	いがぐり	どんぐり	リーダー室2
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

室名／人数	吾　　妻	眺　　山	葉　　山	朝　　日	リーダー室3
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					

○館内泊をする団体は、宿泊者名簿を利用日当日までに提出してください。
○各団体で作成した「しおり」や「部屋割表」等を代用しても構いません。
○引率・指導者が特定できるように※印をつけてください。

【指定管理者／株式会社飯豊町地域振興公社】

小中学生等の引率・指導者名簿

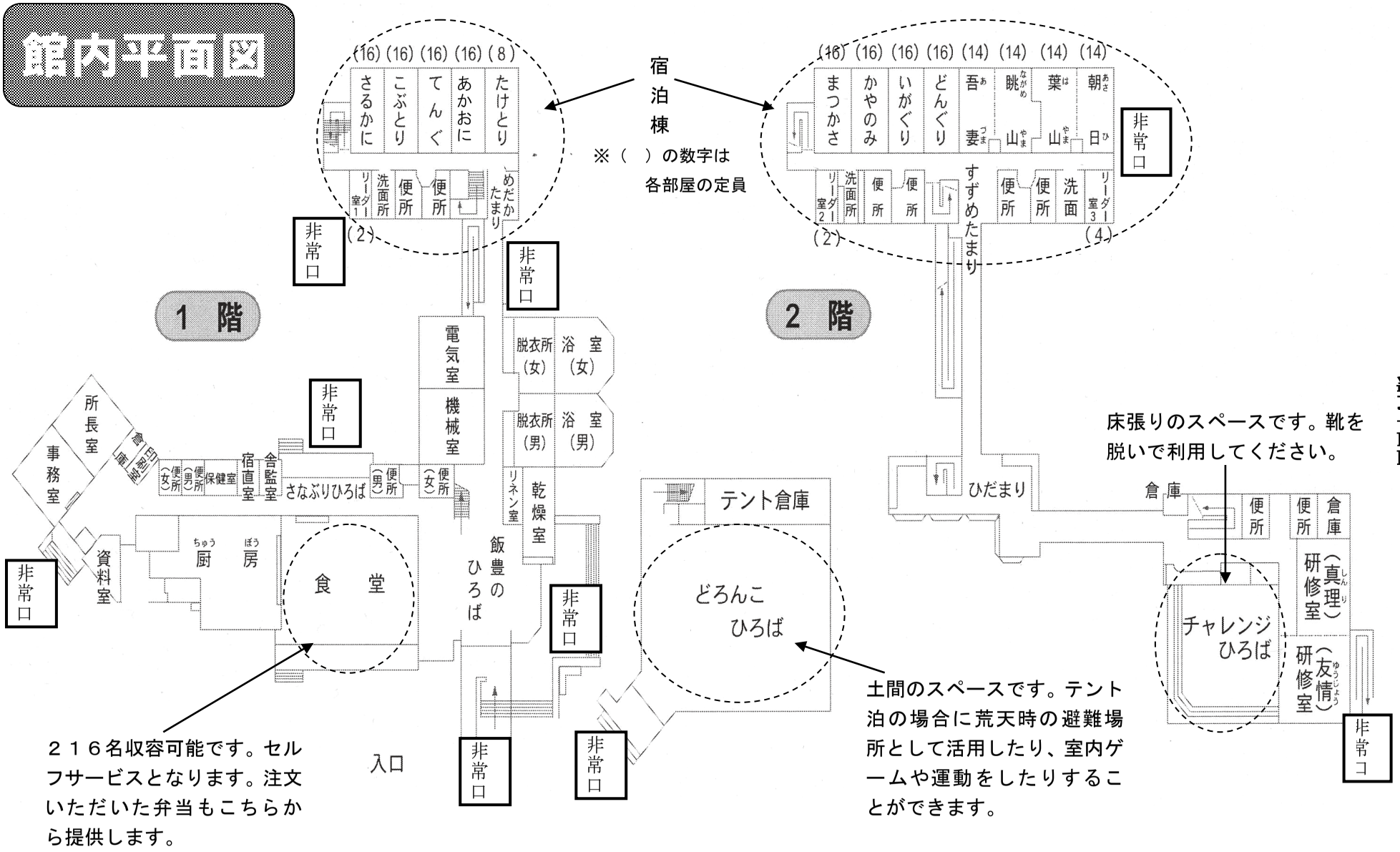
１　団体名

２　利用期間　　月　　日　～　　月　　日（　　泊　　日）

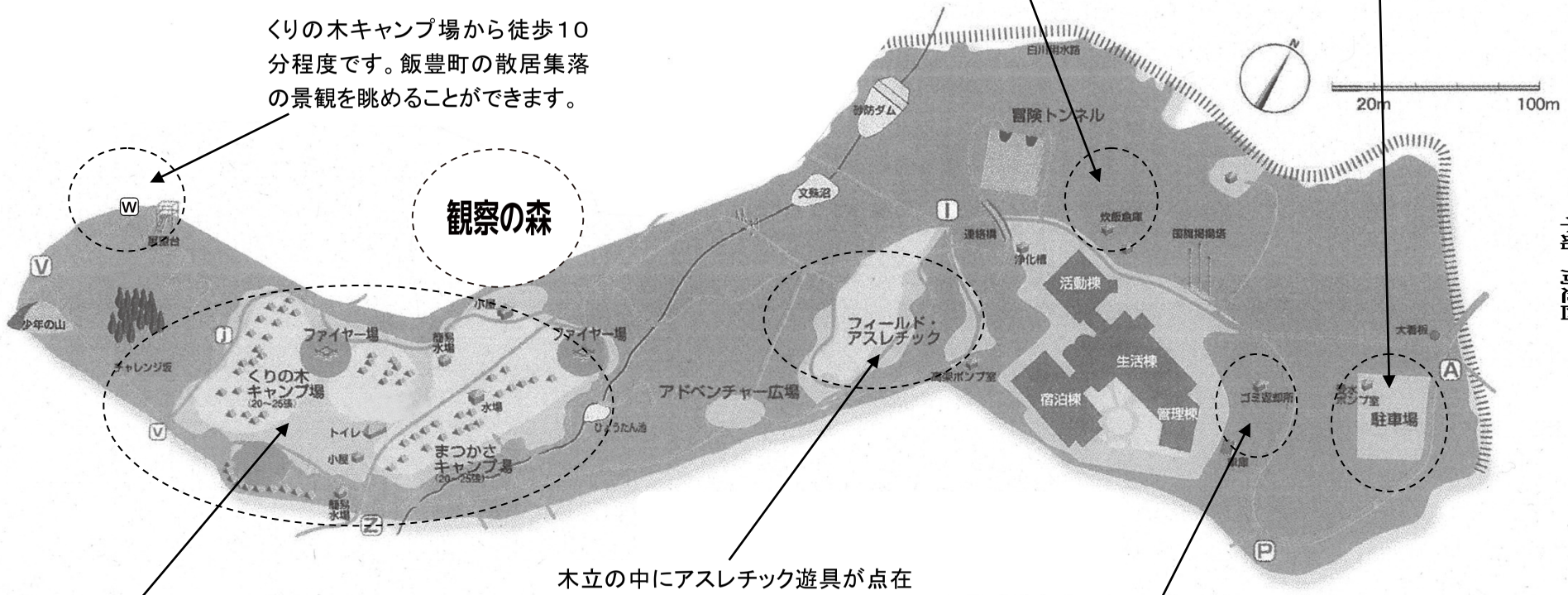
役　職　名	氏　名	役　職　名	氏　名

【指定管理者／株式会社飯豊町地域振興公社】

館内平面図


宿泊棟
※（　）の数字は各部屋の定員
1 階
2 階
たけとり (16)
あかおに (16)
てんぐ (16)
こぶとり (16)
さるかに (8)
めだかたまり (2)
リーダー室1
洗面所
便所
便所
非常口
朝日 (14)
葉山 (14)
眺山 (14)
吾妻 (14)
どんぐり (16)
いがぐり (16)
かやのみ (16)
まつかさ (16)
すずめたまり (2)
リーダー室2
洗面所
便所
便所
便所
便所
洗面
リーダー室3 (4)
非常口
電気室
機械室
脱衣所（女）
浴室（女）
脱衣所（男）
浴室（男）
リネン室
乾燥室
飯豊のひろば
所長室
事務室
倉庫
日報掲
宿直室
舎監室
保健室
便所（女）
便所（男）
さなぶりひろば
便所（男）
便所（女）
厨房
資料室
食堂
入口
テント倉庫
どろんこひろば
ひだまり
倉庫
便所
便所
倉庫
研修室（真理）
研修室（友情）
チャレンジひろば
非常口
床張りのスペースです。靴を脱いで利用してください。
２１６名収容可能です。セルフサービスとなります。注文いただいた弁当もこちらから提供します。
土間のスペースです。テント泊の場合に荒天時の避難場所として活用したり、室内ゲームや運動をしたりすることができます。

本館～テントサイト　周辺図



くりの木キャンプ場から徒歩10分程度です。飯豊町の散居集落の景観を眺めることができます。

野外炊飯用具はすべてここに収納されています。必要なものを各団体で搬出してください。

緊急搬出用車両以外の自家用車・バス等はここに駐車してください。

木立の中にアスレチック遊具が点在しています。本館からも近く、誰でも手軽に楽しむことができます。

テントサイトは本館から約400m離れています。樹木に囲まれ、静かな環境の中でテント生活を送ることができます。

野外炊飯で出たごみは分別してここに捨ててください。

入所受付の際、利用団体の代表者の方にお渡ししている資料です。特に守っていただきたい留意事項が記載されていますので、入所前にもご一読いただき、事前指導などで利用者にもお伝えください。

利用団体の代表者の皆様へ（お願い）

山形県飯豊少年自然の家は「山形県の青少年教育施設」です。きまりを守って安全に活動していだたくために、また利用者同士が互いに気持ちよく活動することができるように、以下について皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

＞＞＞＞利用者の方々に以下について必ずお伝えください＜＜＜＜

1. 施設や活動用具を大切に使用すること

当所は公共施設であり、活動用具も全て公共物です。壊れているものや足りないものがあると次に使用する利用団体に迷惑をかけることになりますので、破損したり紛失したりした場合は速やかに申し出てください。

2. 安全に十分気をつけること

きまりを守り、安全第一に活動するようにしてください。また、危険な動植物（ウルシ・スズメバチ・マムシ等）には絶対に近づかないことや、「なた」「カッター類」を使用する場合は取り扱いに十分気をつけるよう声がけしてください。

3. 活動場所の後片付けをしっかりとすること

※用具を設置しておりませんので、トイレの清掃は除きます。

活動後は必ず後片付け・清掃をしてください。清掃用具は館内各所にあります。衛生上、館内にごみ箱を設置しておりません。清掃後のごみは事務室わきのごみ箱に捨ててください。

4. 自分のごみは必ず持ち帰ること

自分で持ち込んだものから出たごみは必ず持ち帰ってください。

5. 非常時の対応について確認すること

館内で活動する場合、各部屋から一番近い非常口を一人ひとり必ず確認するようにしてください。野外での活動についても非常時の対応について団体ごとご確認ください。

その他の留意点

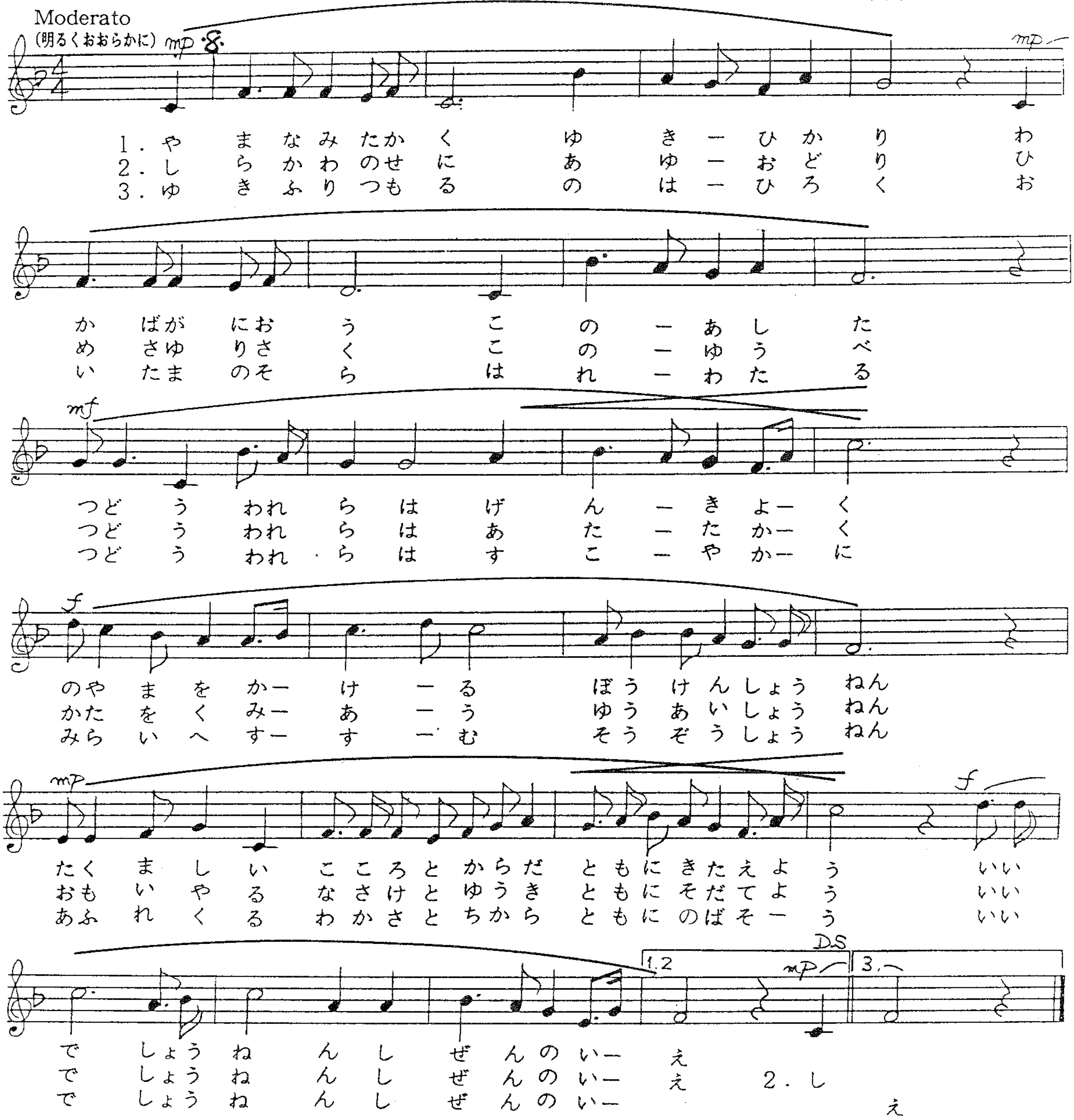
◆**敷地内全面禁煙**です。館内はもちろんのこと、テントサイト等の屋外活動エリアもすべて禁煙となっております。
◆**宿泊部屋での飲食は厳禁**です。指導者ミーティング等で飲食する場合は食堂で行ってください。
◆**研修生入口は22：30に施錠**します。それ以降の出入りはご了承ください。
◆**23：00には全て施錠・消灯**となります。指導者のミーティング等も23：00前に後片付けを終え、宿泊部屋にお戻りください。

山形県飯豊少年自然の家

山形県 飯豊少年自然の家　所歌

中川　尚志　作詞
高橋　幹彦　作曲

昭和６１年（１９８６年）１０月２１日制定



山形県飯豊少年自然の家所歌

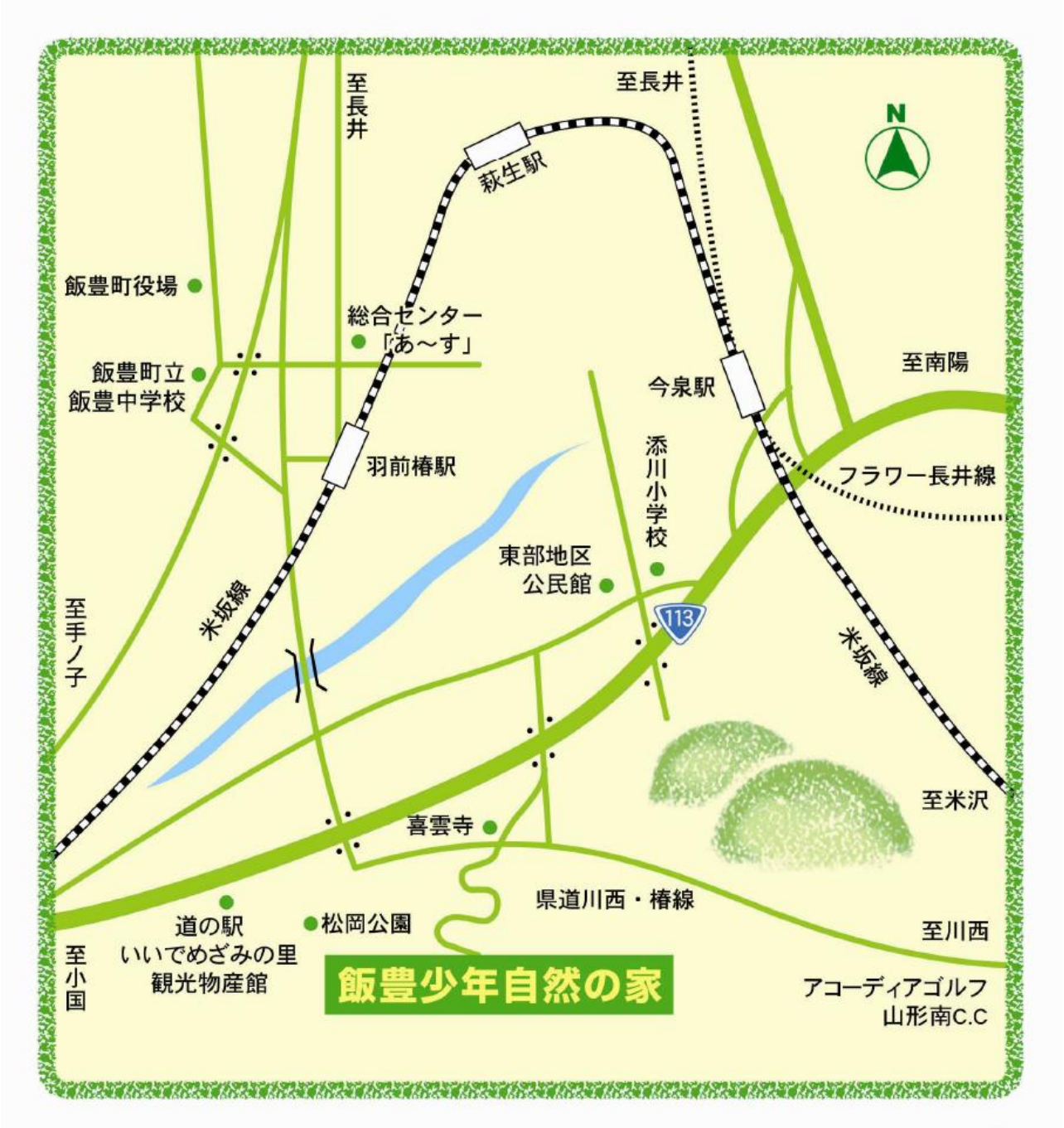
中川　尚志　作詞
高橋　幹彦　作曲

一、山なみ高く雪光り
若葉が匂うこのあした
集うわれらは元気よく
野やまを駆ける冒険少年
たくましい心とからだ
ともに鍛えよう
飯豊少年自然の家

二、白川の瀬に鮎おどり
姫小百合咲くこの夕べ
集うわれらはあたたかく
肩を組み合う友愛少年
おもいやる情けと勇気
ともに育てよう
飯豊少年自然の家

三、雪ふりつもる野は広く
置賜の空晴れわたる
集うわれらは健やかに
未来へ進む創造少年
あふれくる若さとちから
ともに伸ばそう
飯豊少年自然の家

飯豊少年自然の家　アクセスマップ



山形県飯豊少年自然の家

〒999-0605　山形県西置賜郡飯豊町大字添川3535の33

TEL　0238-74-2331　　FAX　0238-72-2342

URL　http://www.iideshonenshizennoie.jp

E-mail　iide-shizennoie@jan.ne.jp

令和５年３月発行